

2020年度第2回FD研修会

「コロナ禍のオンライン授業を振り返って：
第3波に備えて何ができるか（後編:学生の視点から）」

札幌大谷大学FD委員会

2020年8月5日（水）15:30-17:30

特別講師：地域社会学科 教授 山下成治

地域社会学科 教授 森 雅人



本日のねらい

1 コロナ禍におけるオンライン授業を学生はどのように捉えているのかを理解する。

2 学生にとって必要な支援や方策は何かを理解する

3 第2波、第3波が到来した際に、本学がどのように対応すべきか検討する。



今日の スケジュール

1 アンケート結果集計・分析
(60分)

2 質疑応答 (10分)

3 今後に向けての意見交換
(ディスカッション) (40分)

4 ディスカッションの報告
(10分)

■ FD#1まとめ-Ⅰ 今後の継続的な調査の必要性



教員アンケートでは明らかにならなかったこと

教員側の認識と学生のオンライン授業に対する評価に整合性があるかどうか・・・（教員側は概ね好意的評価）

教員アンケートから見えてきた課題

職場の通信環境・資機材の準備・・・**教員の個別の努力に依存**

私費負担による準備（特に非常勤講師の負担）

学内での情報共有・意思決定手順



1. 調査の意義と目的

- ・ 学生向けアンケートの実施の妥当性
- ・ Cov19 対策の案出
- ・ FD/SDでの検討の是非 (文科省/他大学)

2. 調査条件と設計

- ・ 代表性の保証 回答手順の習熟と現状認識深化への誘導 / 感覚から観察へ→設問の混合と相補化
- ・ 正確性の検証 / 現状認知と施策評価の2点
- ・ 仮説一検証型 / FD#1は、踏査一発見型

3. 解析手順

- ・ *Data cording / cleaning / re-sorting*
- ・ Stochastic analysis (*Correlation, Factor, Multi Dimension Scale, BIC cluster, Scheffe's pairwise comparison etc.*)
- ・ 教員FD#1との対比

《参考：FD#1アンケートカテゴリ》

I 教員属性と実施方法

F1-F7: check list, F8:自由回答

II 現状の包括的評価 *Satisfaction*

V1-V5 *¹

III 実施状況

Q1-Q8 *¹, Q9 *², Q10 *³, Q11 check list, Q12-13 *^{1+ND}, Q14:自由回答

IV 施策重要度

Q15 : check list, Q16-17:自由回答

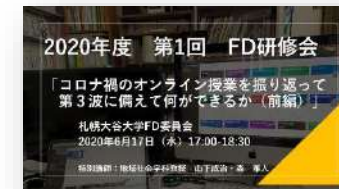
・ その他

個別ヒアリングの許諾

《 *Likert scale*による計量》

- ・ 5件法/ 2件法+ND 履修者の客観的状況
“ND” *No Detect* 判断保留選択肢
- ・ 3分位法 *Tertile* 順位尺度判定

FD#1まとめ-Ⅱ 今後の継続的な調査の必要性



先行調査から ・ ・ (学生A)

- ・ 生活費・学費を全て自分で賄っているため、バイトが無くなった4月・5月は深刻な事態となった
単発のバイトを複数掛け持ち→**経済的支援**が必要だが、その情報は届いていない。
(メールが配信されたようだが見つけられない)
- ・ 科目によって課題が様々である。**資料をClassroomにアップしただけ**で、
「〇月〇日に試験するので準備しといて」だけで、授業と言えるか？
- ・ Zoomなどの映像リアルタイム配信が最も望ましいが、少なくとも、
音声付きスライドくらいは提示して欲しい。

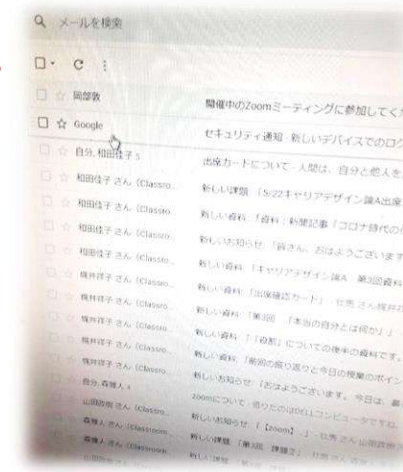
授業料に見合う内容かどうか疑わしい。

- ・ 教科書が手元に届いていないのに、教員が教科書を持っていることを
前提で授業を進めている→**教職員間での連携**が取れていないのでは？
- ・ 大学からやっとの思いでパソコンを借りたが、半角／全角キーがないので使えない。

パソコンサポート窓口がない (ただ渡されるだけ)

- ・ リアルタイムでないのに、**時間割内での提出を求める授業**

本当は生活を支えるためにバイトをしたいが、それを調整するだけの意味があるとは思えない。6



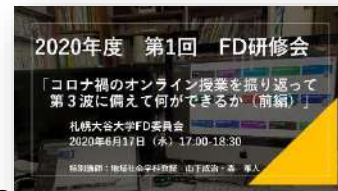
その他の受講生の動き (学内のみ)

- ・ 美術系任意アンケート100名超
- ・ 社会学3年調査 76名

先行調査から・・・

(学生B)

- ・オンライン授業だと、教室内での他の学生からの私語や居眠りなど耳障り・目障りなものに煩わされることがないので集中できる（リアルタイム映像の場合）



(学生C)

- ・オンライン授業のために機材を揃えるのが大変だった→しばらくスマホで受講していたが、スマホでは無理であった。
- ・資料を印刷しなければできないもの、一度に複数のアプリ（classroomとzoomなど）を使用しなければならない授業などに対応するのが難しい
- ・そもそも自粛の意味があるのかわからない。対面が一番いい

(学生D)

- ・対面授業が始まるようだが、オンラインとの併用であれば、移動する時間が無駄であり、危険である。このままオンラインを継続すべき

(学生E)

- ・数年前から施設に関わる費用を徴収されているけど、地震で教室が狭くなり著しい不便を強いられた上に、今回は3、4、5月と大学の施設を使うことができない。制作活動をどこでやれば良いのかわからない。授業料に見合う分の機会・場所の保証をしてほしい。大学の施設が無理なら学外の場所を確保すべきである。また、こうした学生の意向を聞くための努力をしてほしい。音楽などは遠方から来ている学生もいるため、大学の施設を使用しての練習は不可欠である。こうした課題に対して対処してほしい。

FD#1まとめ-Ⅲ 学生の目線から見ると・・・

- **学びの質**

オンラインで提供される学びは本当に授業料に見合うものになっているか？

- **情報の伝達**

必要な情報が、適切な時に届いていると言えるか？いろいろな部署から大量のメールが届き、それらを取捨選択するのは不可能

- **生活支援・パソコン技術習得などの支援**

コロナによる休業で収入が激減している。

経済的な支援について情報を提供して欲しい。

また、パソコンを貸出だけでなく、技術的サポートを提供すべきでは？

**教育の質を高めるオンライン授業の
あり方の取り組みが求められている。**

**オンライン授業は、大学全入時代にある現状で、
多様な背景にある学生のニーズに応ずるための必要な手段でもある。**

今回の学生アンケートのねらい

コロナ禍において、学生が抱える課題は何か？

学生は、オンライン授業をどう捉えているのか？

授業内容、教育（通信）環境

学生は、対面授業を望んでいるのか、それともオンラインか？

学生は何を望んでいるのか？

他大学情報

■北海道大学■



北海道大学 高等教育研修センター

日本語 English

組織概要 セミナー・イベント コンサルティング 活動報告 ラーニングサポート部門 制作物 お問い合わせ リンク

セミナー・イベント

seminar event

学生はオンライン授業をどう受け止めているのか【7月9日】

日時	2020年07月09日(木) (13時00分~14時00分)
開催場所	Zoomセミナーとなります(URLは申込後にお知らせします)
講師	山本 堅一(北海道大学高等教育推進機構 特任准教授)
対象	全国の教育機関関係者
定員	300名
申込受付期間	7月8日(水)正午まで
使用言語	日本語

“学生はオンライン授業をどう受け止めているのか” 北大FD【7月9日】

★参加者300名を超過 セミナー2-3回分を追加準備中

そこでこの度、北大の一年生10名に登壇いただき、オンライン授業に対する心構え、彼らが抱える課題や工夫などについてお話しいただきます。受講生の視点に立った授業づくりをするため、彼らの声に耳を傾けてみましょう。

セミナーURLは、事前登録いただいた方にメールで通知されます。
参加申込をされた方は、忘れずに事前登録していただきますようお願いいたします。

登録確認メールに記載されているセミナーURLは、メール本文をHTML形式で表示させなければクリックできません。
Active Mailでメールを開いている場合、メール上部にHTML表示させるためのアイコンがありますので、そちらをクリックしてください。



参加者が多数いますので、zoomのビデオ設定項目「ビデオなしの参加者を非表示」をオンにすると、登壇する学生が画面に表示されて見やすくなると思います。

※申込受付は7月8日正午で締め切ります。

好評につき、定員を増加し開催日も追加しました。
7月16日(木)17:00~18:00にも同じ座談会を開催します。

登壇学生は①~⑩までの10名です。
9日登壇者→①,②,③,④,⑤,⑥
16日登壇者→⑦,⑧,⑨,⑩,⑪,⑫

このページは9日専用の申し込みページになりますので、ご注意ください。

本セミナーは、zoomセミナー形式で開催します。
参加にはzoomへの登録(無料)が必要となりますので、ご了承ください。

お申し込み後、セミナーURLと事前登録URLをお知らせいたします。

情報対策(組織対応)

V1, V4, Q2.3, Q2.7, Q4

から取り組んでいます。そして同時に、多く
講義、膨大な課題に取り組むという毎日を送

教員にとっても学生にとってもオンラインという慣れない授業形態に置かれる状況において、両者とも少なくない課題
やストレスに直面していることと思います。大学が授業を提供するに当たって大切なことは、どのような教育を提供す
るかといった側面と、そこから学生はどのように主体的に学ぶのかといった側面の両方から眺めることです。

■ 課題の「有無」「量」「提出期限」にご配慮をお願いします

- ・ 調査結果より、毎日多くの課題に追われる学生の姿が明らかになりました。
- ・ 睡眠や体調への影響を訴える学生もおり心配されます。
- ・ Zoomの90分授業に加え分量の多い課題が出て就寝が毎日深夜になる、**ほとんどの授業で課題が出て追いつかない**との訴えが多く、締め切りが授業当日や翌日できついの回答も見られました。
- ・ 特に**低学年ほど授業数の多さに比例**し課題に多くの時間が割かれ、心身の負担を訴えています。
- ・ 4年生からも、コロナ禍での**就職活動と併せ負担を感じる**との声が聞かれます。



<お願い>

学生の過重負担とならないよう、「課題の有無」「課題の量」「締切の緩和」について、今一度ご検討をお願いします。非対面授業の成立要件や学修効果を念頭に課題を課されているかと存じますが、今後は学生負担軽減のため、**文部科学省の指針「非対面授業の要件」**に基づき、**同時双方型（テレビ会議方式等）**授業であれば、以下**(1)(2)の実施は必ずしも求めない**とさせていただきます。

(1)設問回答、添削指導、質疑応答等による十分な指導

(2)学生の意見交換の機会を設ける必要がある

※Zoom等による双方向性が確立された授業が該当します。

受講対策（授業改善）

F2, V2, Q2, Q3, Q4, Q5

4/21付 本学「5月7日以降の授業の方針について」にも記載がありますので、今一度ご確認ください。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- **学生とのコミュニケーション**、特に**課題授受の連絡・応答**は確実にお願いします。
「課題を提出しても先生から応答がなく受理されたか不安」との訴えが多くありました。

<お願い>

- 課題提出は出欠にも関わり、課題授受に関する学生との連絡・応答は確実にお願いします。
- Eメールの場合は、課題を受理した際、学生へのメール返信を必ず行ってください。
- 課題を提出したことを学生自身も確認できるツール（※）の使用もご検討ください。
※Glexa、F-Station、Googleフォーム（設定による）など

- **通信不具合発生時の対応** を学生にお示しください。
・（同時双方型授業で）通信不具合が発生した時の対応が不安との訴えがありました。

<お願い>

- 不慮のトラブルに見舞われた学生が、評価で不利にならないようご配慮をお願いします。
- トラブルが発生した時の対応方法について、予め学生にお示しいただくようお願いします。
- 例）「授業が受信できない場合は、大学支給のGメールで私に連絡しなさい」
「授業中に届いたトラブルの連絡にはすぐ対応できない場合もあるが、授業終了後、対応を指示するので連絡を待ちなさい」 など

- **同時双方型授業の連続による疲労** にご配慮をお願いします。
・長時間モニターや音声に集中する必要があり、疲労が溜まっているとの訴えが多くありました。

<お願い>

- 授業中に学生の状況を確認しながら進めていただく、状況に応じて小休止できる時間を適宜設ける等の
ご配慮をいただけると幸いです。
- 授業と授業の間の休憩時間の確保もお願いいたします。

大学教員間にも意識の溝 「集まりたがる」年配教員に苦言続々

Tweet

Facebook

2020年7月8日 7:00



オンライン派と集まりたがる派の意識の溝が明らかに…（イメージ）

新型コロナウイルスの感染拡大で、全国の大学でオンライン授業が導入されたかと思いきや、緊急事態宣言が解除されてからは、早くも対面講義が再開された大学もある。こうした講義スタイルの頻繁な変化に戸惑う学生は少なくないだろう。

<https://www.moneypost.jp/680601>

罹患者の20人に1人は死亡

緊急事態宣言が解除されてからは、早くも
対面講義が再開された大学もある。

【便益享受者】

- ・ 講義スタイルの頻繁な変化に戸惑う学生は少なくないだろう。

【便益供与者・組織】

- ・ 集まりたがる教員とオンライン派の教員
の間に、意識の溝が生まれているという。

受講対策（授業改善）

F2, V2, V4, Q2, Q3, Q5

『そこまでして、なぜ集まろうとするのか疑問でなりません。
僕自身、下っ端の教員なので、声を大にして反対意見を言え
なかったのが心苦しい』



アンケート結果の解説です。

解説の流れ・・・

- 1 アンケート調査全体の概要について
(山下先生)
- 2 自由記述欄のテキスト分析
(森 先生)
教員アンケートの自由記述との対比を含む
- 3 数量分析 (山下先生)
- 4 まとめ (岡部)
- 5 質疑応答

概 説 箇 所

1. 調査の構成
2. 回収状況
 - ・回答者の認識状況
3. I 基本属性 ～負担の構造
 - ・詳細分析のためのクラスタ化
4. II 負担感 と 対応
5. III 遠隔授業の評価
 - ・良い悪い
6. IV コロナ対策への評価と自由意見
 - ・負担感と潜在的要望 (順位対比)
 - ・自由回答

2. 回収状況 .

↑このフリップで表示

(該当箇所のまとめ)

↑このフリップで表示

Q3.1ー

利用機材・媒体・通信環境については省略
(環境整備委員会+報告に上げます)

解説 計量分析 山下
ナラバス分析 森

1. 調査の構成

FD#1 アンケート集計結果解説



- 1) **調査設計** 遠隔授業の調査項目と *Likert scale* による計量
- I 教員属性と実施方法 F1-F7: check list, F8: 自由回答
 - II 現状の包括的評価 *Satisfaction* V1-V5 *¹
 - III 実施状況 Q1-Q8 *¹, Q9 *², Q10 *³, Q11 check list, Q12-13 *^{1+ND}, Q14: 自由回答
 - IV 施策重要度 Q15: check list, Q16-17: 自由回答
 - ・ その他 個別ヒアリングの許諾

2) 量的解析 (山下)

- 2.1 前処理 Coding / 属性と授業負荷のマクロ分析
- 2.2 Grouping / Category H: Handy capped, Medium, A: Adequate
- 2.3 相関分析 / 主要規定要因の検索
- 2.4 満足度分析 / ポートフォリオマッピング
- 2.5 低次元マッピング / MDSによる潜在因子の推定

3) 質的解析 (森: F8, Q14, Q16-17)

カテゴリー別の認識傾向

- *¹ 7件法 周辺の状況観測を含む判断
- *² 5件法+ND 個人状況による判断
- *³ 2件法+ND 履修者の客観的状況
- ※ “ND” *No Detect* 判断保留選択肢
- *⁴ 3分位法 *Tertile* による順位尺度判定

4) その他 実地ヒアリング (教員 / 受講生)

設計要点

コロナ禍下の大学生生活に関わる以下 4 カテゴリーの項目

①日常, ②健康, ③履修, ④情報伝達

1. 教員アンケート調査に対応：教員・大学が**結果を応用できる**ように
2. 教員調査ト結果から推定された「学生の状態」

基礎属性で 3 群化

3. **学生の施策要望**を加味

★トリアーژی的な**施策投下の優先順位**を定める
単純応答項目と一対比較を併用

Likert scale 5case + Scheffe's paired comparison

I 基本属性

個体特性：F 1－3

F 1 F 1 あなたの所属学科と学年

行につき 1 2 3 4 8 9

学科・学年	1年生	2年生	3年生（保育科の場合 は専攻科1年）	4年生（保育科の場合 は専攻科2年）	過年度 生	研究生
音楽	音楽学科	☐	☐	☐	☐	☐
美術	美術学科	☐	☐	☐	☐	☐
社会	地域社会 学科	☐	☐	☐	☐	☐
保育	保育科	☐	☐	☐	☐	☐

F 3 F 3 あなたの日常*

現在の日常の過ごし方を教えてください。活動の目安として、週あたりのおおよその回数を示します。判断できない場合や、ない場合は[判らない/ない]にチェックを入れて下さい。

行につき 1 2 3 4 5 6 9

週1 週2 週3 週4 週5 ほぼ毎日 [判らない/ない]

日常生活

無為	なにもしない	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-1
課題	課題提出/復習	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-2
予習	授業準備/予習	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-3
趣味	ネットで音楽/動画/ゲーム	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-4
バイト	アルバイト	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-4
クラブ	大学のクラブ/サークル	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-4
学外	学外の活動	☐	☐	☐	☐	☐	☐	F3-4

設問のコーディングとスコア

無動 コントロール要因

F 2 F 2 あなたは、コロナの発生による精神的負担を、どのような場面で、どのくらい感じていますか？*

コロナが発生する前と現在を比較して、あなたの負担感の頻度を教えてください。[判らない]は判断ができない場合につけてください。

行につき 1 2 3 4 5 9

負担感

全く感じ
ない

ほぼ感じ
ない

コロナ前と同
程度

たまに感
じる

いつも感
じる

[判らない]

生活

日常生活一般

☐ ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

F2-1

健康

健康面（コロナ罹患
対処）

☐ ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

F2-2

履修

履修面（授業の支
援）

☐ ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

F2-3

情報

情報面（大学情報の
伝達）

☐ ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

F2-4

《設問の群構成》

表記例

I－V カテゴリ・中分類

基本属性・個体特性

Q1 小分類

負担感

Q1.1 構成項目

生活

Q1.1-1 設問（回答枝）

Likert 得点/水準

Q1.1-n

Q1.2 . . .

■デコードセット（カテゴリ分類）

5カテゴリ 19設問 160選択肢

属	I 基本属性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
カテゴリ	F1学科・学年					F2負担感				F3日常生活							F4経済状況							F5罹患対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
																			F4.3授業料					F5.1	F5.2	F5.3検査理由						F5.4検査希望																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
																			F4.1 家計状 況	F4.2 減免申 請							F5.1 罹患対 策	F5.2 検査要 望																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

II 負担感 と 対応																										
Q 1 負担																										
Q1.1負担箇所																	Q1.2施策比較対									
Q1.1-1 生活全般	Q1.1-2 感染	Q1.1-3 バイト	Q1.1-4 学外活動	Q1.1-5 通学	Q1.1-6 クラブ	Q1.1-7 大学連絡	Q1.1-8 履修登録	Q1.1-9 出席	Q1.1-10 課題量	Q1.1-11 提出期限	Q1.1-12 遠隔授業	Q1.1-13 講義	Q1.1-14 演習	Q1.1-15 実技	Q1.1-16 実習	Q1.1-17 FW	Q1.1-18 その他	Q1.2-1 コロナ不安をなくす	Q1.2-2 (履修-健康)	Q1.2-3 (情報-健康)	Q1.2-4 (履修-経済)	Q1.2-5 (情報-経済)	Q1.2-6 (情報-履修)			
Q1.1-1生活全般	Q1.1-2感染	Q1.1-3バイト	Q1.1-4学外活動	Q1.1-5通学	Q1.1-6クラブ	Q1.1-7大学連絡	Q1.1-8履修登録	Q1.1-9出席	Q1.1-10課題量	Q1.1-11提出期限	Q1.1-12遠隔授業	Q1.1-13講義	Q1.1-14演習	Q1.1-15実技	Q1.1-16実習	Q1.1-17FW	Q1.1-18その他	Q1.2-1コロナ不安をなくす	Q1.2-2(履修-健康)	Q1.2-3(情報-健康)	Q1.2-4(履修-経済)	Q1.2-5(情報-経済)	Q1.2-6(情報-履修)			

Ⅲ 遠隔授業の評価																																							
Q2.1良い																							Q2.2悪い																
*授業内容を理解しやすい	*発言などに参加	*感染の心配が無い	*通学にかかる時間が短い	*通学にかかる費用が安い	*いつでもどこでも授業を受けられる	*教材を何度でも見返すことができる	*人と会わずに済む	*私語などの邪魔が入らない	*パソコンやスマートフォンが使える	*聞き逃しが無い	*グループワークがしやすい	*個人レッスンがある	*課題のフィードバックが豊富	*資料・情報が豊富	*携帯で受け取り可能	*受講場所が自由	*授業への参加意欲が上がる	*時間通りに授業参加	*学校の情報が入手しやすい	*連絡が密で漏れがない	*楽な環境で授業を受けられる	*対面よりも気軽に参加できる	*その他*	*通信環境が悪くて繋ぎにくい	*通信制限がかかっていて遅い	*パソコンやタブレットがない	*授業の資料が見られない	*課題の提出方法がわからない	*課題の提出で苦労している	*出席で苦労している	*課題へのフィードバックがもらえない	*画面がフリーズしたり音声が聞き取れない	*スマホやパソコンの操作が難しい	*課題が多くて負担になる	*人と会わずに済むのが苦手	*先生への質問しづらい	*授業参加へのモチベーションが低い	*受講場所が限られていて不便	*使うアプリが多すぎて困る
*授業内容を理解しやすい	*発言などに参加	*感染の心配が無い	*通学にかかる時間が短い	*通学にかかる費用が安い	*いつでもどこでも授業を受けられる	*教材を何度でも見返すことができる	*人と会わずに済む	*私語などの邪魔が入らない	*パソコンやスマートフォンが使える	*聞き逃しが無い	*グループワークがしやすい	*個人レッスンがある	*課題のフィードバックが豊富	*資料・情報が豊富	*携帯で受け取り可能	*受講場所が自由	*授業への参加意欲が上がる	*時間通りに授業参加	*学校の情報が入手しやすい	*連絡が密で漏れがない	*楽な環境で授業を受けられる	*対面よりも気軽に参加できる	*良いその他*	*通信環境が悪くて繋ぎにくい	*通信制限がかかっていて遅い	*パソコンやタブレットがない	*授業の資料が見られない	*課題の提出方法がわからない	*課題の提出で苦労している	*出席で苦労している	*課題へのフィードバックがもらえない	*画面がフリーズしたり音声が聞き取れない	*スマホやパソコンの操作が難しい	*課題が多くて負担になる	*人と会わずに済むのが苦手	*先生への質問しづらい	*授業参加へのモチベーションが低い	*受講場所が限られていて不便	*使うアプリが多すぎて困る

IV 受講環境と状態																																																																					
Q3.1可能媒体															Q3.2利用媒体															Q3.3通信環境										Q3.4受信状態										Q4好適形式										Q5遠隔授業の満足度									
Q3.1可能媒体						Q3.2利用媒体						Q3.3通信環境						Q3.4受信状態						Q4好適形式										Q5遠隔授業の満足度																																			
*デスク トップ パソコン	*ノート パソコン	*スマー トフォン	*タブ レット*	*ガラパ ゴス携 帯（ガ ラケー）	*媒体な し*	*その他	*パソコ ン*	*スマー トフォ ン*	*タブ レット*	*ガラパ ゴス携 帯（ガ ラケー）	*媒体な し*	*その他	*自宅や 下宿で 契約し ている	*マイバ イルWi -Fi*	*スマー トフォ ン	*スマー トフォ ン	*スマー トフォ ン	*通信環 境が無 い*	*その他	Q3.4-1 受講環 境	Q3.4-2 受信状 態	Q3.4-3 課題作 製環境	Q3.4-4 相談環 境（教 師）	Q3.4-5 相談環 境（仲 間）	Q3.4-6 受講時 間の状 況	Q3.4-1 配信型 授業	Q3.4-2 配信型 授業	Q3.4-3 配信/動 画/資料	Q3.4-4 動画の み	Q3.4-5 動画 （PPT/P D）	Q3.4-6 資料配 布のみ	Q3.4-7 チャッ ト	Q4-1 講義	Q4-2 実技	Q4-3 実習	Q4-4 FW	Q4-5 受講場 所	Q4-6 受講法 支援	Q4-7 課題数	Q4-8 提出期 限	Q4-9 教材の 質	Q4-10 教師の 熱意	Q4-11 大学の 連絡	Q4-12 他情報																									
*デスク トップ パソコン	*ノート パソコン	*スマー トフォン	*タブ レット*	*ガラパ ゴス携 帯（ガ ラケー）	*媒体な し*	*その他	*パソコ ン*	*スマー トフォ ン*	*タブ レット*	*ガラパ ゴス携 帯（ガ ラケー）	*媒体な し*	*その他	*自宅や 下宿で 契約し ている	*マイバ イルWi -Fi*	*スマー トフォ ン	*スマー トフォ ン	*スマー トフォ ン	*通信環 境が無 い*	*その他	Q3.4-1 受講環 境	Q3.4-2 受信状 態	Q3.4-3 課題作 製環境	Q3.4-4 相談環 境（教 師）	Q3.4-5 相談環 境（仲 間）	Q3.4-6 受講時 間の状 況	Q3.4-1 配信型 授業	Q3.4-2 配信型 授業	Q3.4-3 配信/動 画/資料	Q3.4-4 動画の み	Q3.4-5 動画 （PPT/P D）	Q3.4-6 資料配 布のみ	Q3.4-7 チャッ ト	Q4-1 講義	Q4-2 実技	Q4-3 実習	Q4-4 FW	Q4-5 受講場 所	Q4-6 受講法 支援	Q4-7 課題数	Q4-8 提出期 限	Q4-9 教材の 質	Q4-10 教師の 熱意	Q4-11 大学の 連絡	Q4-12 他情報																									

V コロナ対策への評価と自由意見									
評価					自由意見				
Q6大学対応への評価					ナラティブ				
Q5-1大学対応全般	Q5-2教務支援（授業）	Q5-3学生支援（生活）	Q5-4意思疎通（連絡）		N 1 良いこと	N 2 悪いこと	N 3 自由意見		
Q5-1大学対応全般	Q5-2教務支援（授業）	Q5-3学生支援（生活）	Q5-4意思疎通（連絡）		N1良いこと	N2悪いこと	N3自由意見		

ReID	I/設問	音楽	美術	社会	保育	F2-1生活	F2-2健康	F2-3履修	F2-4情報	F3.1無動	F3.2課題	F3.3学習	F3.4趣味	F3.5バイト	F3.6クラブ	F3.7学外	F4.1家計状況	F4.2減免申請	*現在のままで問題ない*	*説明が必要*	*対策・改善が必要*	*学生との相談が必要*	*判断しにくい/判断しない*
1	50	1				4	4	4	4	3	5	4	6	9	9	9	0	9	0	0	1	0	0
2	87	1				4	4	5	5	2	3	3	6	2	9	9	2	9	0	0	1	0	0
3	88	1				3	3	4	4	9	6	6	3	3	9	2	0	0	0	0	1	0	0
4	89	1				3	3	5	5	9	3	3	6	3	9	6	0	9	0	1	1	1	0
5	90	1				4	1	5	1	9	5	5	6	9	9	9	0	0	0	1	1	0	0
6	91	1				1	2	4	3	1	6	6	6	3	9	9	1	0	0	0	1	0	0
7	92	1				4	1	2	2	9	5	6	6	9	9	6	0	0	0	0	0	0	1
8	93	1				4	3	4	4	9	6	6	2	4	9	2	0	9	0	1	1	0	0
9	94	1				2	2	4	2	9	3	2	6	9	9	9	0	0	0	0	1	0	0
10	95	1																					0
11	96	1																					0
12	98	1																					0
13	100	1				4	1	5	5	9	6	5	6	9	1	9	0	0	0	0	1	0	0
14	101	1				9	9	4	2	9	6	6	6	9	9	9	0	0	0	0	0	0	1
15	102	1				3	3	4	4	9	6	5	6	9	9	9	0	0	1	0	0	0	0
16	105	1				5	5	5	5	3	5	9	6	3	9	9	2	1	0	1	1	1	0

エンコーディング例（データクリーニング後）

2. 回収状況

代表性・正確性は未検定

学年	F1学科・学年				
全CL	音楽	美術	社会	保育	小計
1	64	85	52	82	283
2	45	48	47	81	221
3	39	36	41	6	122
4	44	38	43	12	137
8	3	0	0	0	3
9	3	1	0	0	4
小計	198	208	183	181	770

'8:過年度生, 9:研究生

100%

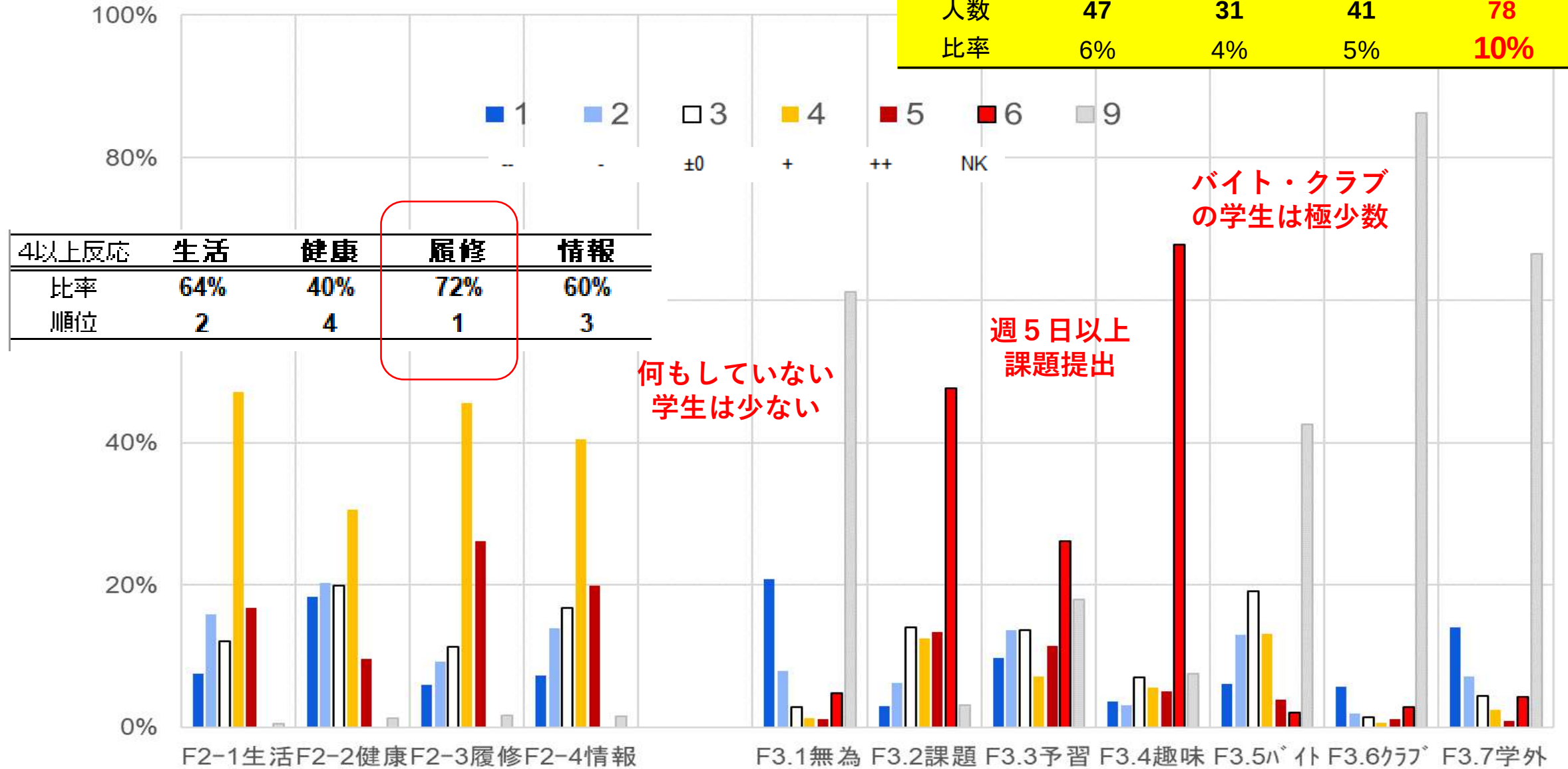
'学科学年の重複は無効回答(9件)

就学経験の長い
3・4年生群の傾向が
反映されていない可能性
がある。

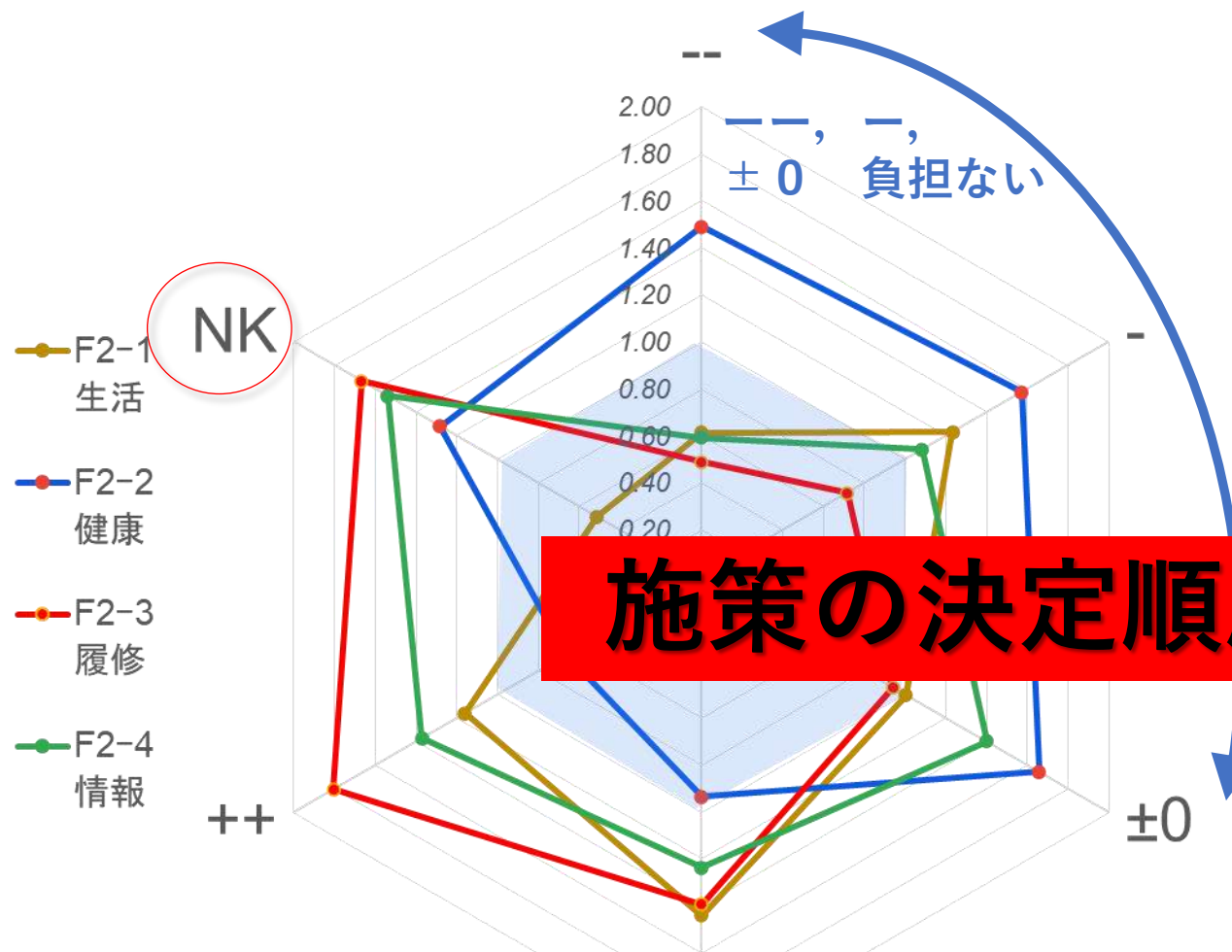
3. 負担の構造

F2負担感 - F3日常生活

週5日以上	バイト	クラブ	学外	バイト+クラブ
人数	47	31	41	78
比率	6%	4%	5%	10%



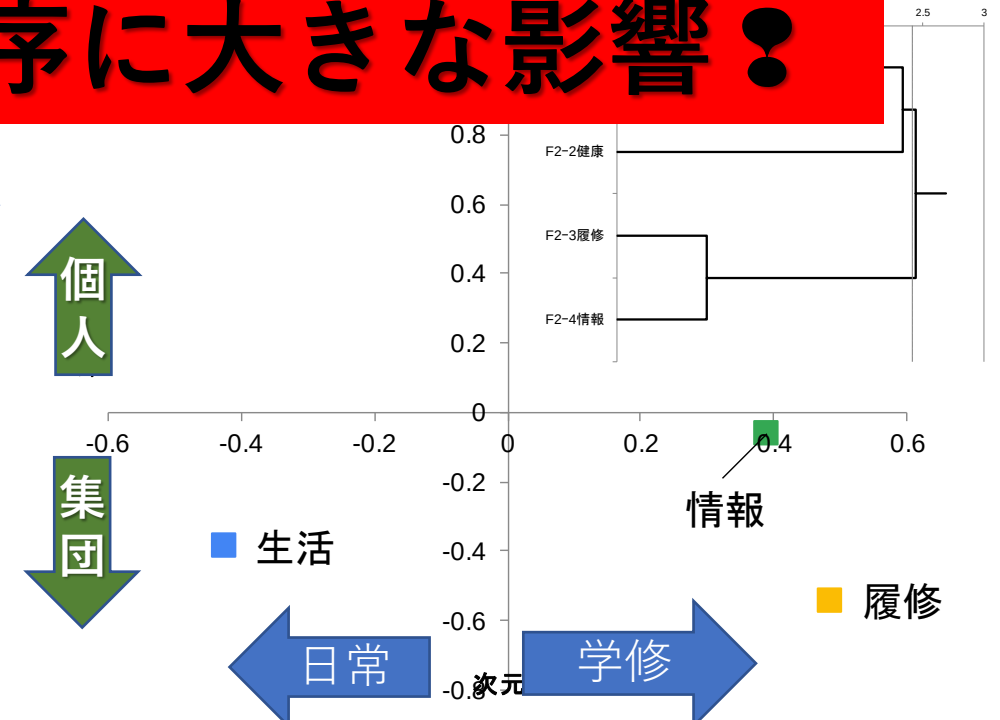
F2負担感 特化度



4以上反応	生活	健康	履修	情報
比率	64%	40%	72%	60%
順位	2	4	1	3

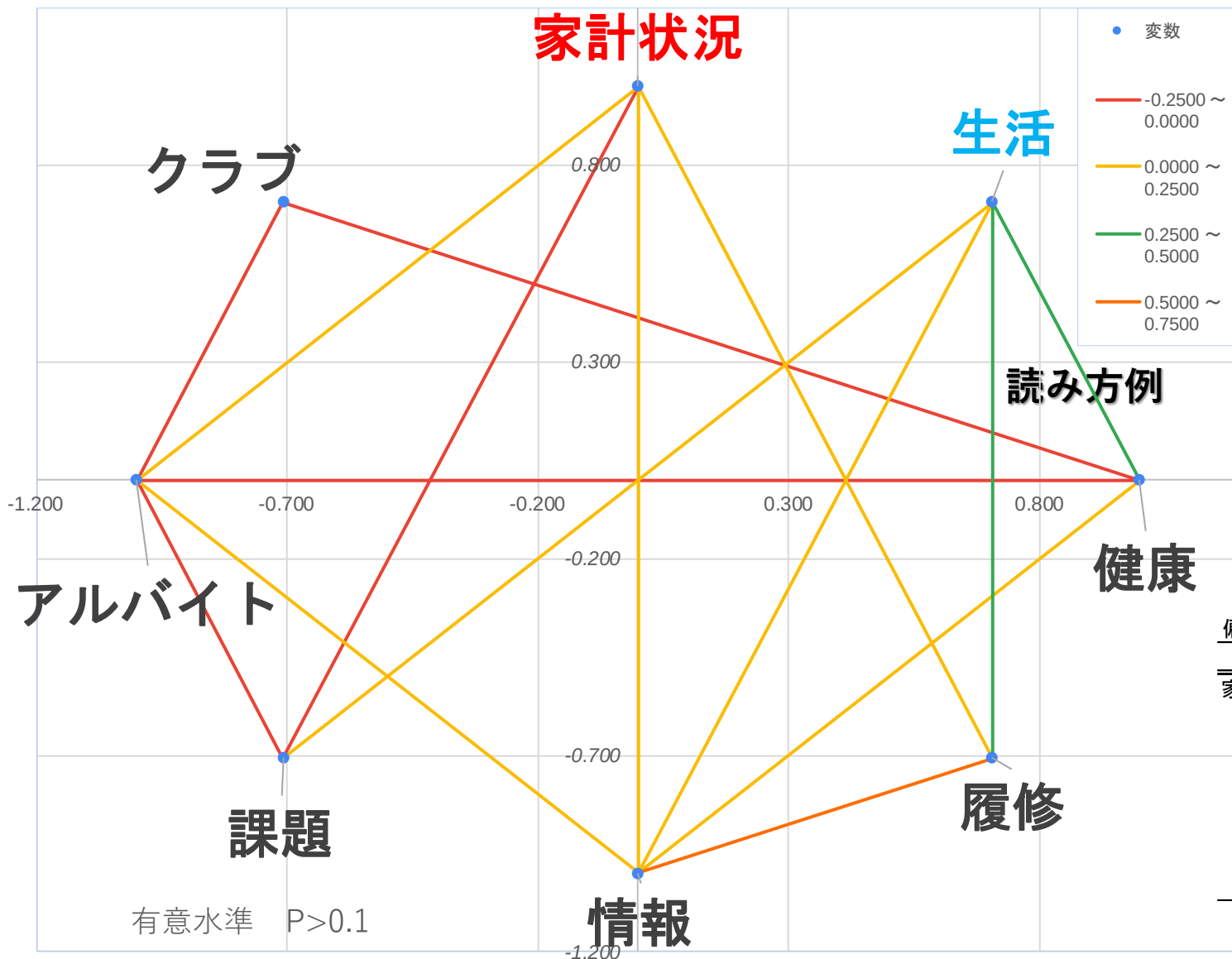
施策の決定順序に大きな影響！

■負担強度順位は、
 1位：履修
 2位：日常生活
 3位：大学情報
 4位：健康
 ■しかし…
 「日常生活」以外の変化は、
 判断がついていない？



負担の連関性ー I

負担要素間の偏相関（無向グラフ）



■ **家計が苦しいと**、
履修・大学情報・アルバイト
に負担を増やし、課題を出し
にくい？

■ **生活不安は**、
健康・履修への負担に直結し、
課題・大学情報の負担にも
相互影響する。

偏相関行列のヒートマップ

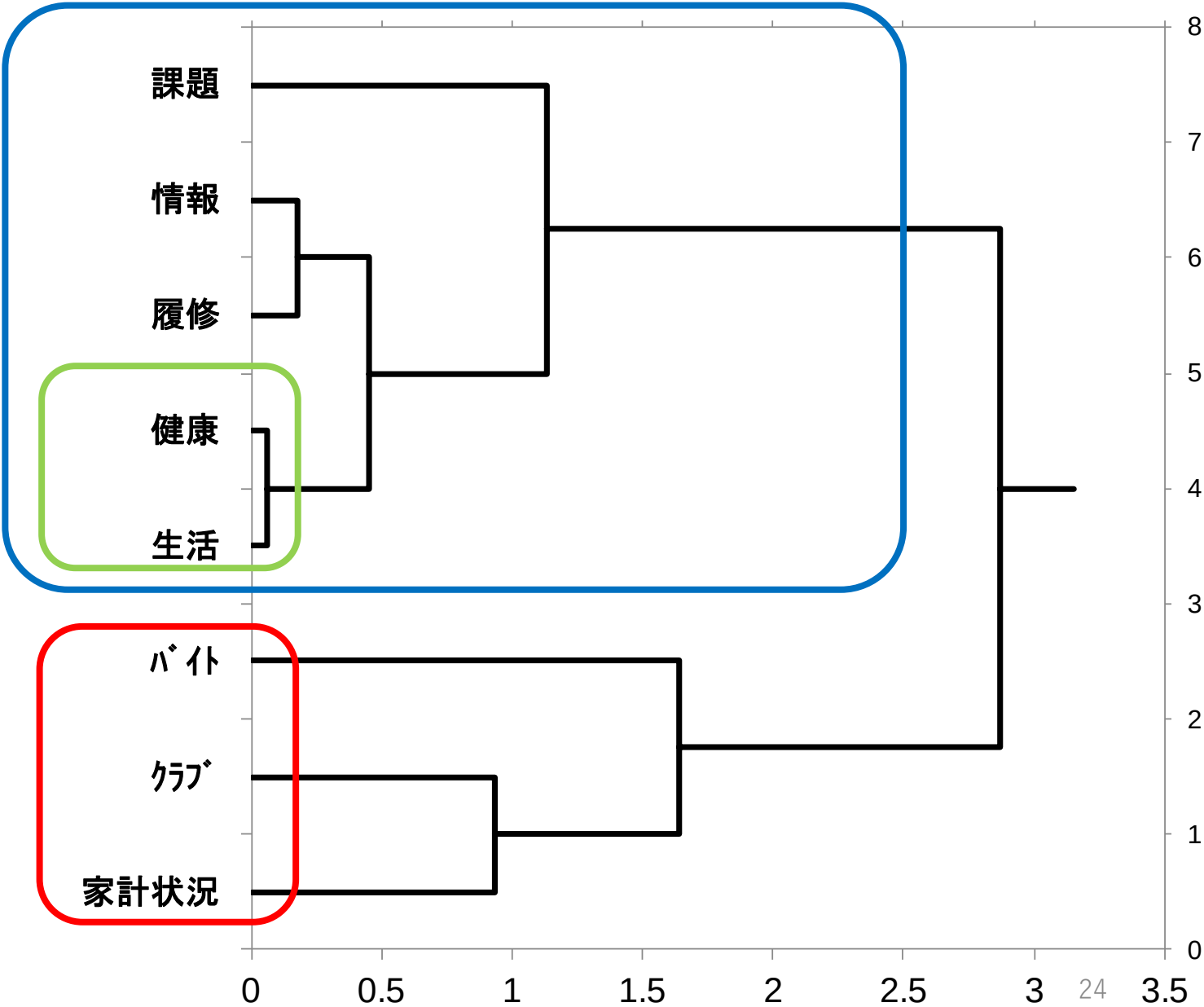
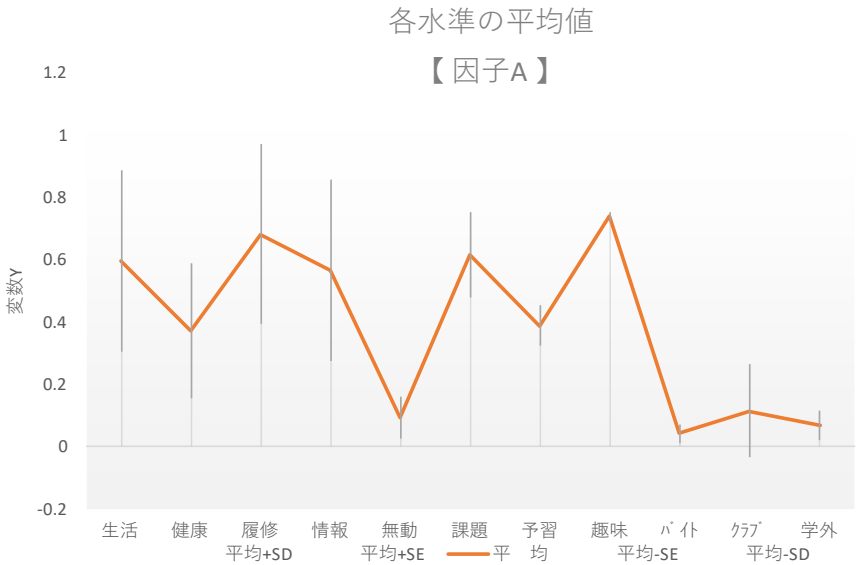
	家計状況	生活	健康	履修	情報	課題	バイト	クラブ
家計状況	1.00	0.02	0.00	0.06	0.07	-0.06	0.07	0.04
生活	0.02	1.00	0.35	0.28	0.10	0.08	-0.03	-0.06
健康	0.00	0.35	1.00	-0.01	0.14	0.01	-0.09	-0.07
履修	0.06	0.28	-0.01	1.00	0.51	0.06	0.02	-0.02
情報	0.07	0.10	0.14	0.51	1.00	0.00	0.11	0.04
課題	-0.06	0.08	0.01	0.06	0.00	1.00	-0.13	-0.05
バイト	0.07	-0.03	-0.09	0.02	0.11	-0.13	1.00	-0.11
クラブ	0.04	-0.06	-0.07	-0.02	0.04	-0.05	-0.11	1.00

負担の連関性ーⅡ

■負担対策のカテゴリ

(切断距離に準じて)

- 1位：バイト・クラブ・家計
- 3位：学修・教導全般
- ★授業課題対策
- 2位：健康・生活と
大学情報・履修支援
は同時並行



負担の連関性Ⅱ

■ 行動目録 *ethogram*

・ 個体の負荷

時間/場所/条件で
強度/頻度が異なる。

★ 負荷対策

因果/機序の調査が必要

北大FD・配付資料2

“学生はオンライン授業を
どう捉えているのか”

Q2へ

(不足している)

代表的な1週間の過ごし方

発生原因



代表的な1週間の過ごし方

Dさん



負担の連関性-Ⅳ

受講生の特徴

感覚充足形

モラトリウム

青年期のなかで安住し、大人になろうとしない

目的訴求形

自立・自律

青年期に自律性した大人になろうとする

便益対投資効果
実存感覚・仲間関係



お地蔵様

PDCA
All
DA

行動心理

妄想



Big data

企業戦略
システムズ
アプローチ

企業戦士

便益対投資効果
心・技・知 / 資格・能力

遠隔授業

遠隔授業：青年の心理

ADLESCENCE PSYCHOLOGY No.10

<http://www.hokurikugakuin.ac.jp/college/enkaku/seinenn/10th.php>

青年期の自律性、主導性とそれにかかわる要因

<https://core.ac.uk/download/pdf/160754527.pdf>

全体（複合表）

負担感一日常生活一経済状況

赤字：・負担有りの箇所
・60%超の反応箇所

全CL	1・2・3負担なし				週当たりの活動日数							F4経済状況							
	F3負担感				F4日常生活							F 4 . 1 家計状	F 4 . 2 減免申	F 4 . 3授業料					
強度・稼働日数	生活	健康	履修	情報	無為	課題	予習	趣味	バイト	クラブ	学外	家計状況	減免申請	問題ない	説明が必要	改善が必要	相談が必要	判らない	その他
0												561	535	709	517	320	635	604	769
1	59	142	46	56	161	23	75	29	47	45	110	170	76	61	253	450	135	166	1
2	120	153	68	106	60	49	106	24	99	14	54	39							
3	92	154	87	130	22	108	106	55	147	11	34								
4	365	237	354	314	10	96	55	43	101	5	18								
5	131	75	203	153	9	104	87	40	31	9	7								
6					37	368	204	522	15	22	34								
9	3	9	12	11	471	22	137	57	330	664	513		159	9該当なし，判らない					
小計	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770
負担感あり	65%	41%	73%	62%	6%	61%	38%	73%	6%	4%	5%	27%	12%	8%	33%	58%	18%	22%	0%

社会心理調査なので，社会的帰属性（学科/学年）だけの「クロス集計」では判らないことがある。
部分集合に切り分けるキーインデックスが必要

属性クラスター **3 カテゴリ**

基本属性からBIC:K-mean法で凝集

CL	無為	課題	予習	趣味	バイト	クラブ	学外
C1	6%	61%	38%	73%	6%	4%	5%
C2	6%	79%	48%	77%	0%	4%	3%
C3	19%	45%	32%	74%	5%	34%	14%
全体	6%	61%	38%	73%	6%	4%	5%

平均的学生
学修志向
クラブ・対外活動

有意差 P<0.1

CL	音楽	美術	社会	保育	小計
C1	79	67	65	55	266
C2	82	85	71	86	324
C3	37	56	47	40	180
全体	198	208	183	181	770

特化度	音楽	美術	社会	保育
C1	1.15	0.93	1.03	0.88
C2	0.98	0.97	0.92	1.13
C3	0.80	1.15	1.10	0.95

I 基本属性 経済状況 F 4 - 6

F 4.1

F 4 コロナの流行で、家庭の経済状況はどのように変化しましたか？
□ここからは、授業や大学からの経済支援についての質問です。

F 4.2

F 5 大学への授業料減免の申請をしましたか？
つだけマークしてください。

家計状況

つだけマークしてください。

2 ☐ 悪化して苦しい **F4.1**

1 ☐ 悪化した

0 ☐ 変わらない

減免申請

1 ☐ はい **F4.2**

0 ☐ いいえ

9 ☐ 知らなかった

F 4.3

F 6 遠隔授業で、授業料減免を申請していない場合、満額の授業料をどう思いますか？
 (複数回答可) *

□この設問は、実態を調査するためのもので、直ちに具体的な対策をとることを意味するものではありません。

当てはまるものをすべて選択してください。

授業料

無 謬

要説明

要対策

要相談

N K

他

☐ 現在のままで問題ない
☐ 説明が必要
☐ 対策・改善が必要
☐ 学生との相談が必要
☐ 判断しにくい/判らない
 その他: ☐ _____

CL	家計 状況	減免 申請	問題 ない	説明が 必要	改善が 必要	相談が 必要	判らな い	その他
C1	34%	17%	4%	42%	67%	21%	20%	0%
C2	25%	11%	9%	31%	57%	19%	20%	0%
C3	23%	8%	13%	22%	48%	9%	28%	0%
全体	27%	12%	8%	33%	58%	18%	22%	0%

I 基本属性 罹患対策 F 7-8, C1-C2

F5.1

罹患対策

F 7 大学の コロナ罹患対策は十分でしょうか？

つだけマークしてください。

- 1 ☐ 不足している F5.1
2 ☐ 少し不足
3 ☐ 世間一般なみ
4 ☐ まあ足りている
5 ☐ 十分やっている
9 ☐ [判らない]

F5.2

検査要望

F 8 あなたはコロナに罹患してるかどうか知りたいですか？

つだけマークしてください。

- 1 ☐ はい F5.2
0 ☐ いいえ 質問 にスキップします
9 ☐ [判らない]

F5.3

検査理由

C 1 それは何故ですか？（複数回答可）

当てはまるものをすべて選択してください。

0 1

- ☐ 自分の体調を保つために F5.3-1
☐ 家族へ罹患させることが危ぶまれるので F5.3-2
☐ 罹患したことを知られることを危ぶむので F5.3-3
☐ 就職活動に支障がでるから F5.3-4
☐ アルバイトに支障がでるから F5.3-5
☐ クラブ活動に支障がでるから F5.3-6
その他: ☐ _____ F5.3-7

F5.4

検査条件

C 2 抗体検査を大学で実施するとしたら、あなたは受診したいですか？

□「抗体検査」はコロナに罹患していたかどうかを知るための検査で簡単なキットが発売されてい果が直ちに実施を意味するわけではありませんがお答えください。

行につき つだけマークしてください。

	1 はい	0 いいえ	9 [判らない]	
有料の場合	☐	☐	☐	F5.4-1
無料の場合	☐	☐	☐	F5.4-2
個人が特定されない場合	☐	☐	☐	F5.4-3
大学内のみ公表される場合	☐	☐	☐	F5.4-4
大学外へ公表される場合	☐	☐	☐	F5.4-5

CL	不充足 /不満足感	検査 要望	検査目的							受診条件				
			体調 維持	家族へ の罹患	他に知 られる	就職活 動不利	アルバイト 不利	クラブ 不利	その他	有料 受診	無料 受診	非特定	学内 公知	対外 公知
C1	11%	55%	41%	44%	6%	9%	19%	3%	0%	12%	61%	58%	25%	15%
C2	12%	57%	46%	47%	8%	9%	8%	3%	0%	11%	63%	62%	24%	15%
C3	8%	41%	32%	33%	5%	6%	11%	4%	0%	11%	49%	45%	17%	9%
全体	11%	55%	41%	44%	6%	9%	19%	3%	0%	12%	61%	58%	25%	15%

- ・罹患対策は現状満足 クラスによらない
- ・抗体検査要望は約50%
- ・理由は、家族・自分への罹患対策
- ・検査条件は無料&非公開

II 負担感 と 対応 ・ 負担発生：Q2.1, ・ 対策重要度：Q 2. →Q 1 群

2

Q1.1 Q 2.1 精神的負担が多いのは何ですか？

負担箇所	1 ほぼ無い	2 まあ無い	3 以前と同程度	4 まあある	5 とてもある	9 [判らない]	
生活全般	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-1
コロナ感染	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-2
経済/バイト	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-3
学外活動	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-4
通学/登下校	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-5
クラブ活動	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-6
大学の連絡	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-7
履修登録	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-8
出席確認	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-9
課題の出題量	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-10
課題提出期限	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-11
授業が遠隔	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-12
講義	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-13
演習	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-14
実技	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-15
実習	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-16
フィールドワーク	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-17
その他	☐	☐	☐	☐	☐	☐	Q1.1-18

Q1.2 Q 2.2 あなたは、コロナへの不安をなくすためには、どちらの要素が重要だと思いますか？ （健康－経済）*

Scheffe's Paired Comparison 5 cases

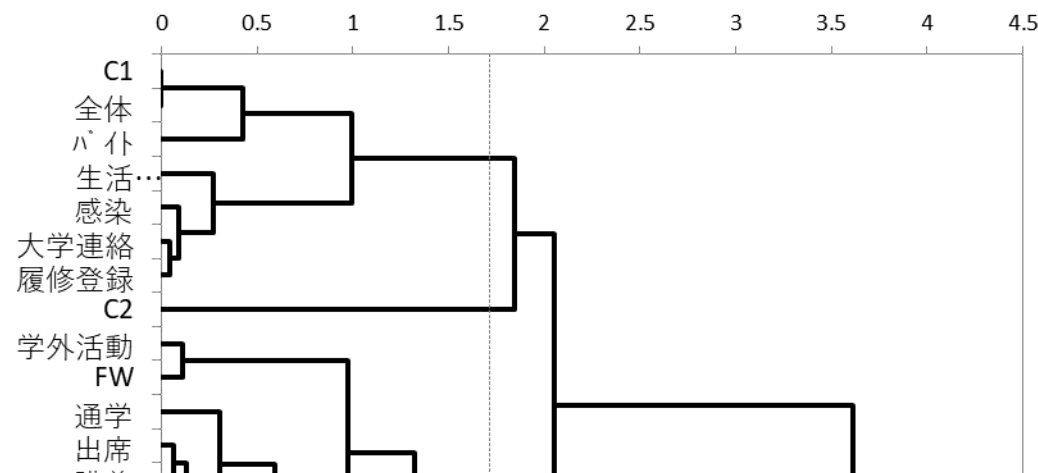
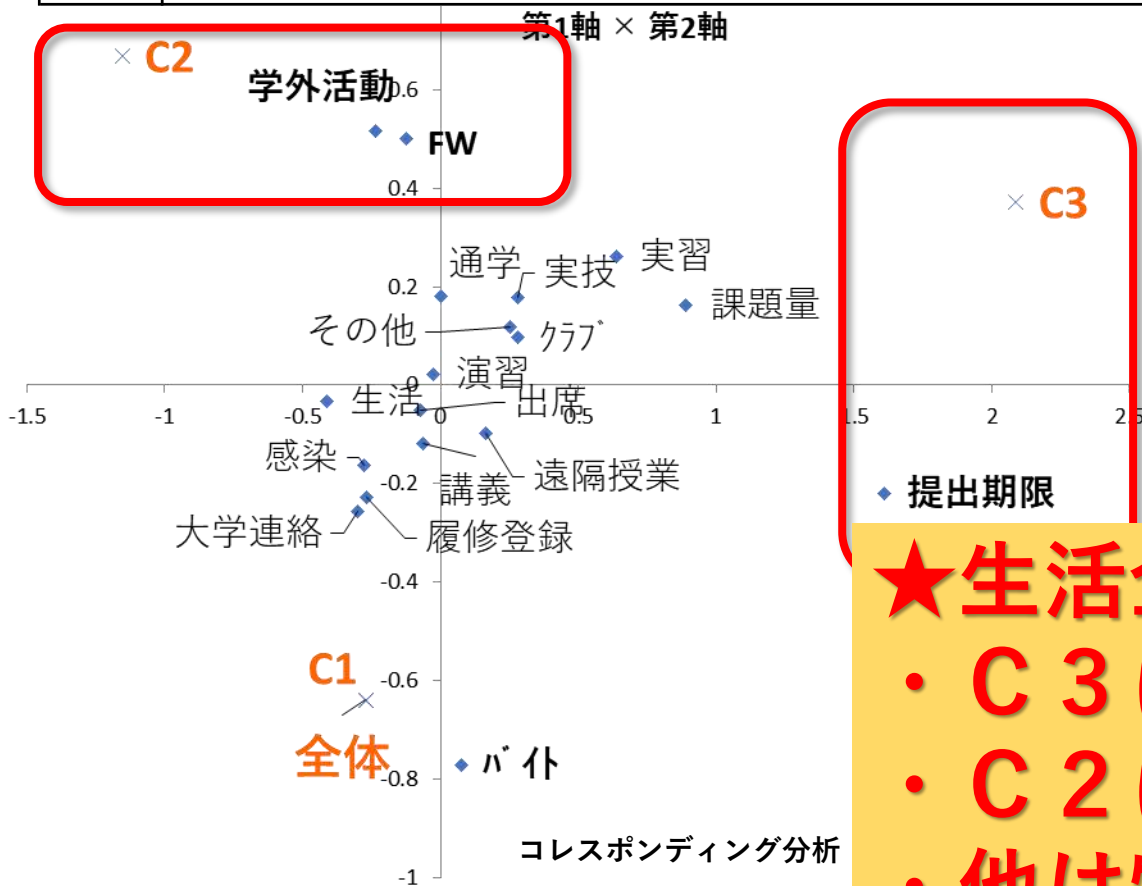
比較対

	1	2	3	4	5	
Q1.2-1						
健康面（コロナ罹患対処）	☐	☐	☐	☐	☐	経済面（バイト・生活支援）
Q1.2-2						
履修面（授業の支援）	☐	☐	☐	☐	☐	健康面（コロナ罹患対処）
Q1.2-3						
情報面（大学情報の伝達）	☐	☐	☐	☐	☐	健康面（コロナ罹患対処）
Q1.2-4						
履修面（授業の支援）	☐	☐	☐	☐	☐	経済面（バイト・生活支援）
Q1.2-5						
情報面（大学情報の伝達）	☐	☐	☐	☐	☐	経済面（バイト・生活支援）
Q1.2-6						
情報面（大学情報の伝達）	☐	☐	☐	☐	☐	履修面（授業の支援）

★自由回答と対比

Q1.1 負担箇所

CL	生活全般	感染	バイト	学外活動	通学	クラブ	大学連絡	履修登録	出席	課題量	提出期限	遠隔授業	講義	演習	実技	実習	FW	その他
C1	42%	41%	33%	26%	29%	11%	33%	29%	34%	33%	31%	34%	33%	32%	32%	26%	22%	9%
C2	53%	46%	32%	35%	34%	13%	37%	33%	38%	33%	30%	36%	37%	37%	35%	29%	31%	12%
C3	18%	23%	22%	16%	20%	8%	18%	16%	23%	32%	30%	26%	23%	23%	25%	21%	14%	5%
全体	42%	41%	33%	26%	29%	11%	33%	29%	34%	33%	31%	34%	33%	32%	32%	26%	22%	9%



- ★生活全般に対して、負担感がある
- ・ C 3 は提出期限が負担
 - ・ C 2 は学外フィールドワークに負担
 - ・ 他は特に集中した要因は無い

III 遠隔授業の評価 Q3. 1 - Q3. → Q2 群

- ・情報量 $Sturges' rule \ln_2 N + 1 \sim 4 (5) ; N = 24, 23$
- ・現況を良く理解させる機会 「4つ以上」 チェック

Q2.1

Q3.1 オンライン授業で 「良い」 と思うことを選んでください。

良い

- Q2.1-1 ☐ 授業内容を理解しやすい
- Q2.1-2 ☐ 発言などで授業に参加しやすい
- Q2.1-3 ☐ 感染の心配が無い
- Q2.1-4 ☐ 通学にかかる時間が無い
- Q2.1-5 ☐ 通学にかかる費用が無い
- Q2.1-6 ☐ いつでもどこでも授業を受けられる
- Q2.1-7 ☐ 教材を何度でも見返せる
- Q2.1-8 ☐ 人と会わずに済む
- Q2.1-9 ☐ 私語などの邪魔が入らない
- Q2.1-10 ☐ パソコンやスマートフォンの操作能力が上がる
- Q2.1-11 ☐ 聞き逃しが無い
- Q2.1-12 ☐ グループワークがしやすい
- Q2.1-13 ☐ 課題のフィードバックが容易である
- Q2.1-14 ☐ 授業参加へのモチベーションの維持が難しい
- Q2.1-15 ☐ 携帯だけで受講可能である
- Q2.1-16 ☐ 受講場所が自由である
- Q2.1-17 ☐ 授業への参加意欲が高まる
- Q2.1-18 ☐ 時間通りに授業参加できる
- Q2.1-19 ☐ 授業環境がよい
- Q2.1-20 ☐ 授業環境で授業をやる
- Q2.1-21 ☐ 対面よりも気楽に参加できる
- Q2.1-22 ☐ その他: ☐

Q2.2

Q3.2 オンライン授業で 「悪い」 と思うことを選んでください。

悪い

- Q2.2-1 ☐ 通信環境が悪くて繋がらないことがある
- Q2.2-2 ☐ 通信制限がかかって困ることがある
- Q2.2-3 ☐ パソコンやタブレットがないため困る
- Q2.2-4 ☐ 授業の資料が見られないことがある
- Q2.2-5 ☐ 課題の提出方法がわからないことがある
- Q2.2-6 ☐ 課題が提出できているのかわからないことがある
- Q2.2-7 ☐ 出席できているのかわからないことがある
- Q2.2-8 ☐ 課題へのフィードバックがないため、困ることがある
- Q2.2-9 ☐ 画面がフリーズしたり、音声途切れるなどのトラブルがある
- Q2.2-10 ☐ スマホやパソコンの操作方法がわからず、困ることがある
- Q2.2-11 ☐ 課題が多くて負担になっている
- Q2.2-12 ☐ 人と会えなくて寂しくなる
- Q2.2-13 ☐ 先生へ質問しづらい
- Q2.2-14 ☐ 授業参加へのモチベーションの維持が難しい
- Q2.2-15 ☐ 使うアプリが多く、困ることがある。
- Q2.2-16 ☐ 遠隔だと授業内容が理解しにくい
- Q2.2-17 ☐ 授業への参加意欲が出ない
- Q2.2-18 ☐ 時間通りに授業参加できない
- Q2.2-19 ☐ 連絡内容がわからないことがある
- Q2.2-20 ☐ 連絡が多すぎて困ることがある
- Q2.2-21 ☐ 気分が落ち込んでしまうことがある
- Q2.2-22 ☐ その他: ☐

「良い」「悪い」

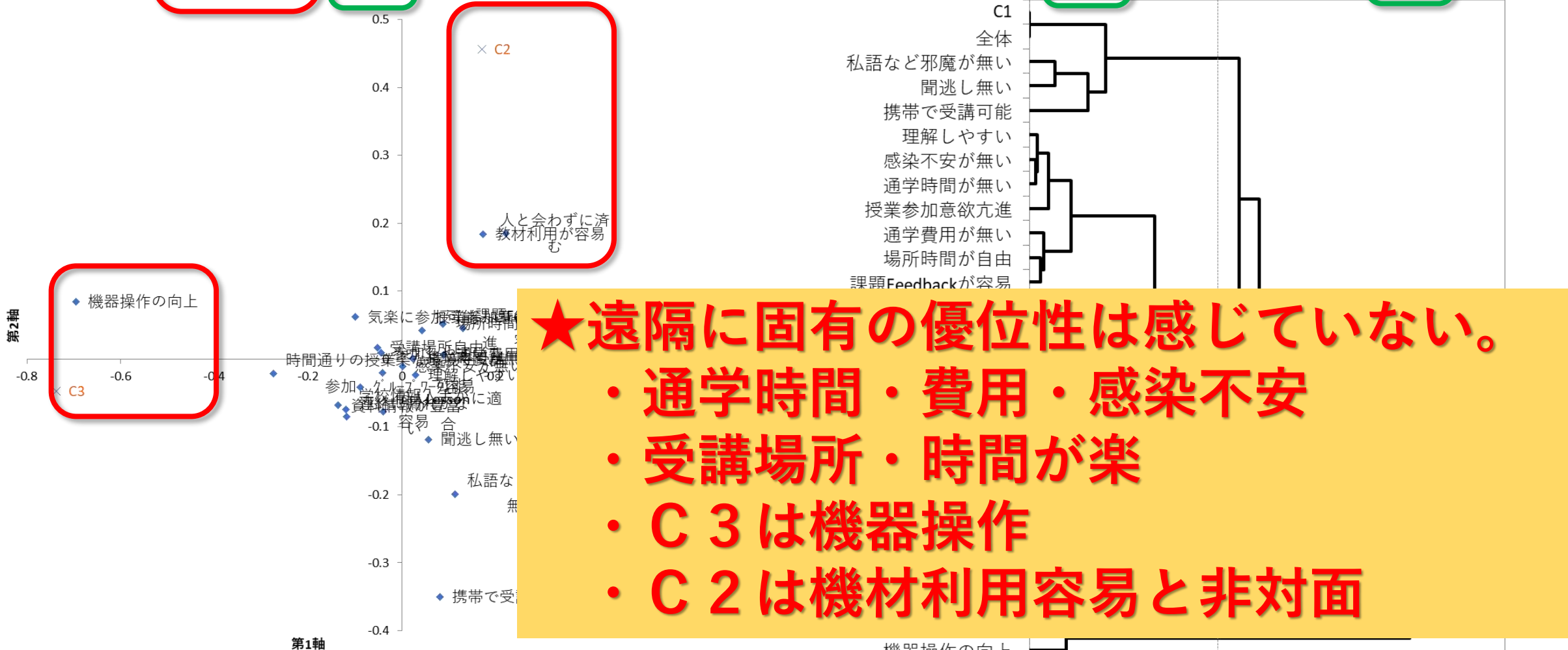
↔ 主観的感觉で付与した得点分類は再帰性・検証性が保証できない

※因子構造の検討

遠隔授業における「良し悪し」の規定因子を抽出して構成概念を検討

Q2.1 良い

CL	理解しやすい	参加しやすい	感染不安が無い	通学時間が無い	通学費用が無い	場所時間が自由	教材利用が容易	人と会わずに済む	私語など邪魔が無い	機器操作の向上	聞逃し無い	グループワーク容易	個人Lessonに適合	課題Feedbackが容易	資料情報豊富	携帯で受講可能	受講場所自由	授業参加意欲亢進	時間通りの授業参加	学校情報入手が容易	連絡に漏れがない	楽な環境で受講可能	気楽に参加可能	その他
C1	11%	9%	77%	78%	59%	60%	51%	42%	34%	32%	22%	6%	6%	21%	15%	41%	63%	10%	24%	9%	10%	64%	44%	0%
C2	12%	11%	78%	80%	60%	64%	58%	46%	36%	34%	22%	7%	6%	23%	16%	40%	67%	13%	26%	9%	10%	65%	48%	0%
C3	11%	12%	78%	76%	54%	56%	46%	39%	35%	37%	22%	9%	8%	19%	20%	41%	69%	10%	30%	13%	14%	68%	48%	0%
全体	11%	9%	77%	78%	59%	60%	51%	42%	34%	32%	22%	6%	6%	21%	15%	41%	63%	10%	24%	9%	10%	64%	44%	0%

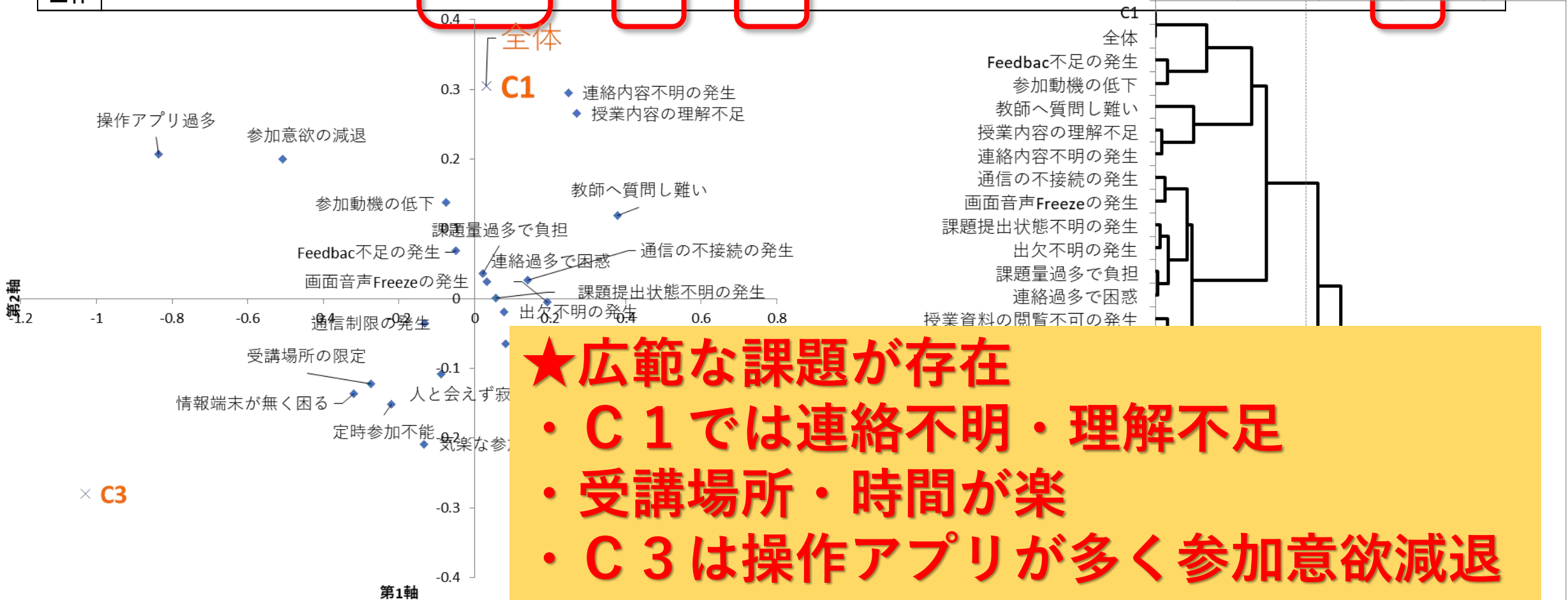


Q2.2 悪い

CL	通信の不接続	通信制限の発生	情報端末が無く困る	授業資料の閲覧不可	課題提出方法	課題提出状態不明の発生	出欠不明の発生	Feedback不足の発生	画面音声Freezeの発生	機器操作不足	課題量過多で負担	人と会えず寂しい	教師へ質問しにくい	参加動機の低下	受講場所の限定	操作アプリ過多	授業内容の理解不足	参加意欲の減退	定時参加不能	連絡内容不明	連絡過多で困惑	気楽な参加
C1	37%	14%	6%	24%	34%	61%	57%	20%	54%	25%	59%	45%	36%	46%	12%	34%	43%	28%	14%	44%	55%	14%
C2	40%	14%	5%	28%	36%	65%	62%	20%	62%	29%	60%	48%	40%	45%	11%	33%	45%	24%	14%	45%	57%	17%
C3	29%	9%	6%	17%	27%	51%	47%	13%	41%	18%	50%	42%	26%	39%	11%	29%	30%	24%	12%	31%	47%	12%
全体	37%	14%	6%	24%	34%	61%	57%	20%	54%	25%	59%	45%	36%	46%	12%	34%	43%	28%	14%	44%	55%	14%

第1軸 × 第2軸

2.5



V コロナ対策への評価と自由意見

・評価 V 1 - V → Q 6 群

4

Q6

大学対応
への評価

- V 1 全般として、これまでの大学の対応に満足していますか？ *
- V 2 教務支援（授業・学修）に満足していますか？ *
- V 3 学生支援（生活・経済）に満足していますか？ *
- V 4 大学からの情報連絡に満足していますか？ *

Q6-1
Q6-2
Q6-3
Q6-4

1 2 3 4 5

全て不足/不満足 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 全て充足/満足

負担感

F 2

F 2 あなたは、コロナの発生による精神的負担を、どのような場面で、どのくらい感じていますか？ *

コロナが発生する前と現在を比較して、あなたの負担感の頻度を教えてください。[判らない]は判断ができない場合をつけてください。

行につき つだけマークしてください。

1 2 3 4 5 9
全く感じ ほぼ感じ コロナ前と同 たまに感 いつも感 [判らな
ない ない 程度 じる じる い]

生活

日常生活一般 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ F2-1

健康

健康面（コロナ罹患 対応） ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ F2-2

履修

履修面（授業の支 援） ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ F2-3

情報

情報面（大学情報の 伝達） ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ F2-4

・ナラティブ N1 - → N 群

N3

Imp.

N 1 オンライン授業になって「良かったこと」
Improved

良かった

Wrs.

N 2 オンライン授業になって「悪くなったこと」
got worse

悪くなった

Opn.

N 3 現在の状況や、大学への希望、今後への思い
Free opinion

自由意見

・負担感 F 2

要望施策順位

・評価 V 1 - V 4

クラス	指標	施策要素			
		生活	健康	履修	情報
C1	負担感*	3	4	1	2
	要望**	4	2	3	1
C2	負担感*	2	4	1	3
	要望**	2	3	4	1
C3	負担感*	2	4	1	3
	要望**	4	3	2	1
全体	負担感*	2	4	1	3
	要望**	4	2	4	1

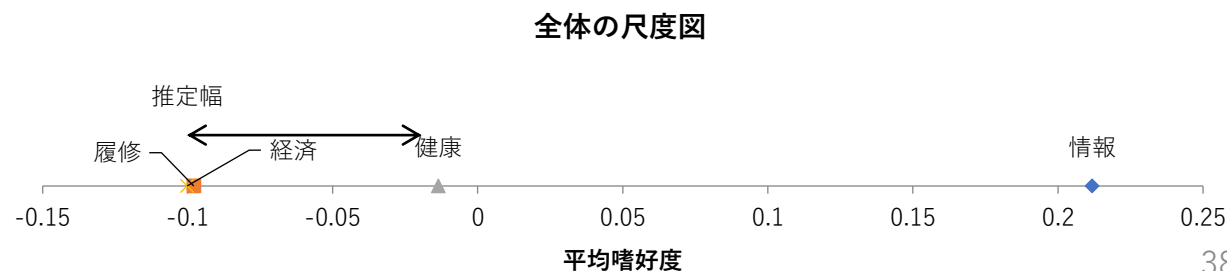
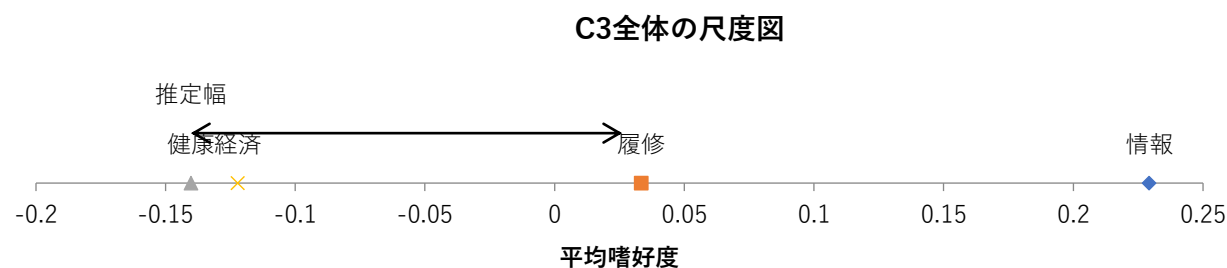
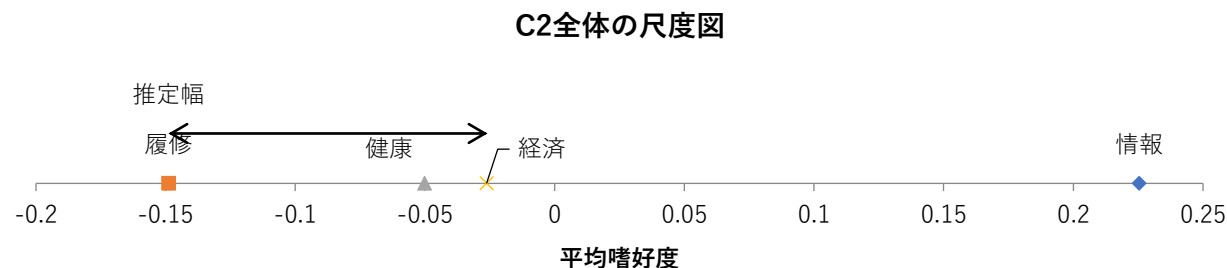
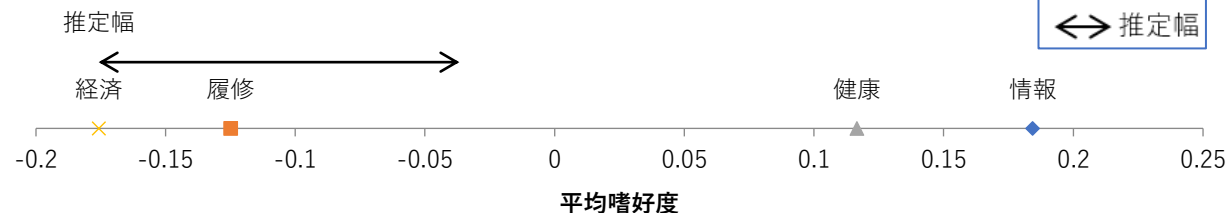
*F2 負担感(基本属性) **sheffe一対比較

負担要素と要望施策
は異なっている！

C3全体

	平均嗜好	下限値	上限値
健康	-0.1403	-0.3066	0.0261
経済	-0.1222	-0.2886	0.0441
履修	0.0333	-0.1330	0.1997
情報	0.2292	0.0628	0.3955
差	推定幅		
経済-健康	0.018056	0.166367	
履修-経済	0.155566		
情報-履修	0.195833		
履修-健康	0.173611		

履修と健康には有意差があるが、



V コロナ対策への評価と自由意見

・評価 V 1 - V → Q 6 群

4

Q6

大学対応
への評価

- V 1 全般として、これまでの大学の対応に満足していますか？ *
- V 2 教務支援（授業・学修）に満足していますか？ * Q6-1
- V 3 学生支援（生活・経済）に満足していますか？ * Q6-2
- V 4 大学からの情報連絡に満足していますか？ * Q6-3
- Q6-4

1 2 3 4 5

全て不足/不満足 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 全て充足/満足

・ナラティブ N1 - → N 群

N3

Imp.

N 1 オンライン授業になって「良かったこと」
Improved

良かった

Wrs.

N 2 オンライン授業になって「悪くなったこと」
got worse

悪くなった

Opn.

N 3 現在の状況や、大学への希望、今後への思い
Free opinion

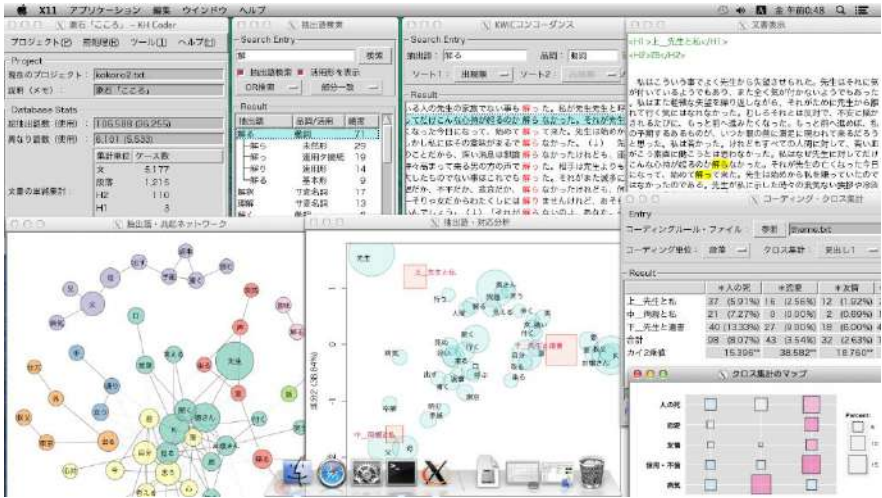
自由意見

80字以上で教えてください。

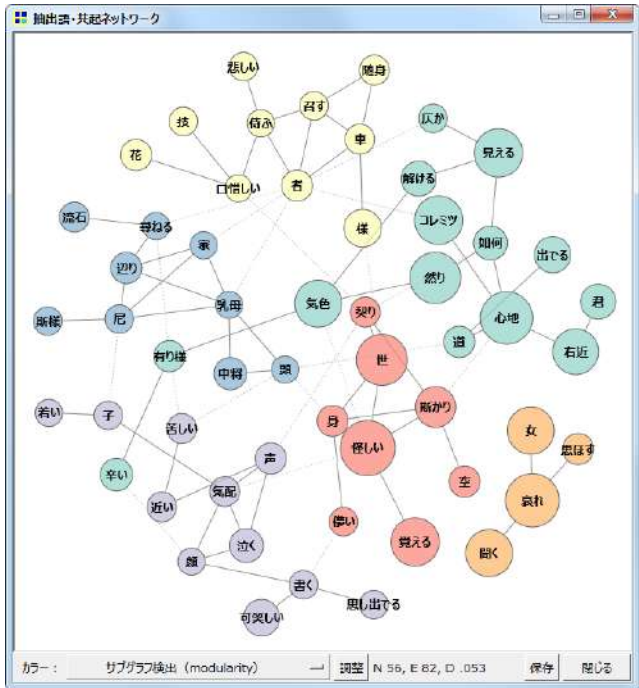
★定形質問では判らない個人的語り

- ・損出回避心理
- ・埋没費用効果 *sunk cost /concorde effect*
ie.女神 *Concordia* : 調和・協調

抽出語 (頻出コーパス)



共起ネットワーク



KH Coder by 茶筌コーパス分析

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
授業	40	全く	4	方式	3
学生	39	操作	4	望む	3
準備	25	早い	4	本当に	3
時間	21	他	4	本来	3
レッスン	15	買う	4	良い	3
オンライン	13	不足	4	練習	3
遠隔	12	分かる	4	もう少し	2
環境	12	無い	4	アップ	2
対面	11	容量	4	アドバイス	2
行う	10	カメラ	3	オン	2
使う	10	スマ	3	コマ	2
思う	10	ソフト	3	スタート	2
パソコン	9	デマンド	3	スライド	2
大学	9	マイク	3	ツール	2
動画	8	ルーム	3	データ	2
必要	8	音質	3	バラバラ	2
感じる	7	音声	3	フォロー	2
機材	7	画材	3	レベル	2
自分	7	確認	3	悪い	2
実施	7	間に合う	3	移行	2
一番	6	含める	3	音楽	2
映像	6	機会	3	何とか	2
音	6	研究	3	可能	2
使用	6	見る	3	過剰	2
状態	6	現在	3	回答	2
進める	6	最初	3	改善	2
担当	6	指導	3	開始	2
クラス	5	事前	3	割く	2
願う	5	持つ	3	活用	2
教員	5	質問	3	肝心	2
作業	5	受講	3	求める	2
場合	5	受講	3	教える	2
先生	5	出す	3	勤務	2
対応	5	少し	3	形	2
通信	5	情報	3	経験	2
提出	5	状況	2	経費	2

自由書き込み	F8 授業準備と現状	Q14遠隔授業・業務	Q16追加対策	Q17今後の授業
書き込み数	61	76	24	70
%	38%	47%	15%	43%
総平均	36%	↑有意に多い	↑有意に少ない	

学生対象アンケートの テキスト分析

- ・すべてのデータを出現回数が多い順に150語を抽出した。
- ・抽出語のグループ分け（階層的クラスター分析）と語の関連性（共起ネットワーク分析）を同時に把握するため、サブグラフ検出を用いた。
- ・最小出現数は学生30とした。

良いこと

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
時間	647	朝	40	省ける	18
授業	647	登校	40	生活	18
受ける	345	余裕	40	ストレス	17
通学	261	多い	39	以前	17
思う	194	感じる	38	下校	17
自分	193	質問	38	個人	17
課題	156	見る	35	考える	17
良い	148	自由	35	登	17
オンライン	137	助かる	35	特に	17
家	111	少ない	35	オン	16
出来る	106	無くなる	35	悪い	16
感染	104	有効	33	今	16
交通	104	気軽	32	作業	16
動画	104	準備	32	電車	16
学校	92	会う	31	遠い	15
資料	89	起きる	30	簡単	15
受講	80	見返せる	28	顔	15
人	80	練習	28	機関	15
楽	76	可能	27	繰り返す	15
自宅	76	取り組める	27	見れる	15
講義	74	分かる	27	合う	15
行く	70	コロナ	26	私語	15
好き	69	タイミング	26	取る	15
増える	59	内容	26	地下鉄	15
先生	57	安心	25	不安	15
提出	56	前	25	活用	14
対面	55	他	25	形式	14
移動	53	費用	25	進める	14
減る	53	理解	25	調べる	14
復習	53	確認	24	都合	14
ペース	52	出る	24	部分	14
参加	51	場合	24	落ち着く	14
集中	51	気楽	23	確保	13
必要	50	少し	23	空く	13
リスク	49	逃す	23	作る	13
無い	49	録画	23	持つ	13
見返す	47	お金	22	寝る	13
パソコン	46	期限	22	定期	13
場所	46	睡眠	22	面	13
いつ	45		22	リアルタイム	12
心配	45	体調	22	リラックス	12
コロナ	44	周り	21	掛かる	12
済む	44	負担	21	効率	12
環境	43	デマンド	20	出す	12
聞く	43	出席	20	書く	12
取り組む	42	配信	20	短縮	12
大学	42	ウイルス	19	遅刻	12
気	41	残る	19	低い	12
使う	40	勉強	19	入る	12
使える	40	学習	18	発言	12

悪いこと

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
授業	682	会う	35	進む	20
課題	509	減る	33	聞こえる	20
多い	253	困る	33	意味	19
対面	175	生活	33	学生	19
オンライン	168	使う	32	状態	19
時間	166	少ない	32	全て	19
思う	165	送る	32	負担	19
先生	165	説明	31	やる気	18
提出	151	追う	31	学費	18
不安	146	疲れる	31	起きる	18
人	113	毎日	31	考える	18
感じる	110	気	30	辛い	18
悪い	104	教科	30	全く	18
分かる	102	終わる	30	遅い	18
実技	86	状況	29	途切れる	18
友達	86	良い	29	部分	18
受ける	84	話す	29	無い	18
出席	83	確認	28	練習	18
内容	77	直接	28	ネット	17
講義	74	目	28	違う	17
環境	72	画面	27	作業	17
見る	68	仕方	27	質	17
資料	66	大きい	27	実際	17
質問	66	科目	26	身	17
理解	63	行く	26	対応	17
自分	61	今	26	スマート	16
出す	61	他	26	テスト	16
通信	57	トラブル	25	フォン	16
難しい	55	レポート	25	関係	16
出来る	54	生徒	25	差	16
連絡	54	グループ	24	受講	16
量	53	コミュニケー	24	正直	16
学校	52	ション	24	前	16
大学	52	願	24	気	16
	52	気軽	24	配信	16
少し	51	リアルタイム	23	必要	16
増える	51	機会	23	友人	16
パソコン	50	行う	23	来る	16
大変	49	参加	23	落ちる	16
レッスン	48	取る	23	ピアノ	15
家	46	場合	23	意欲	15
期限	45	伝わる	23	会話	15
集中	41	音	22	個人	15
動画	41	相談	22	始まる	15
会える	40	慣れる	21	上手い	15
出る	40	情報	21	比べる	15
メール	37	入る	21	不便	15
言う	37	ワーク	20	不満	15
聞く	37	取り組む	20	残念	14
実習	36	取れる	20	重い	14
特に	36	心配	20	進める	14

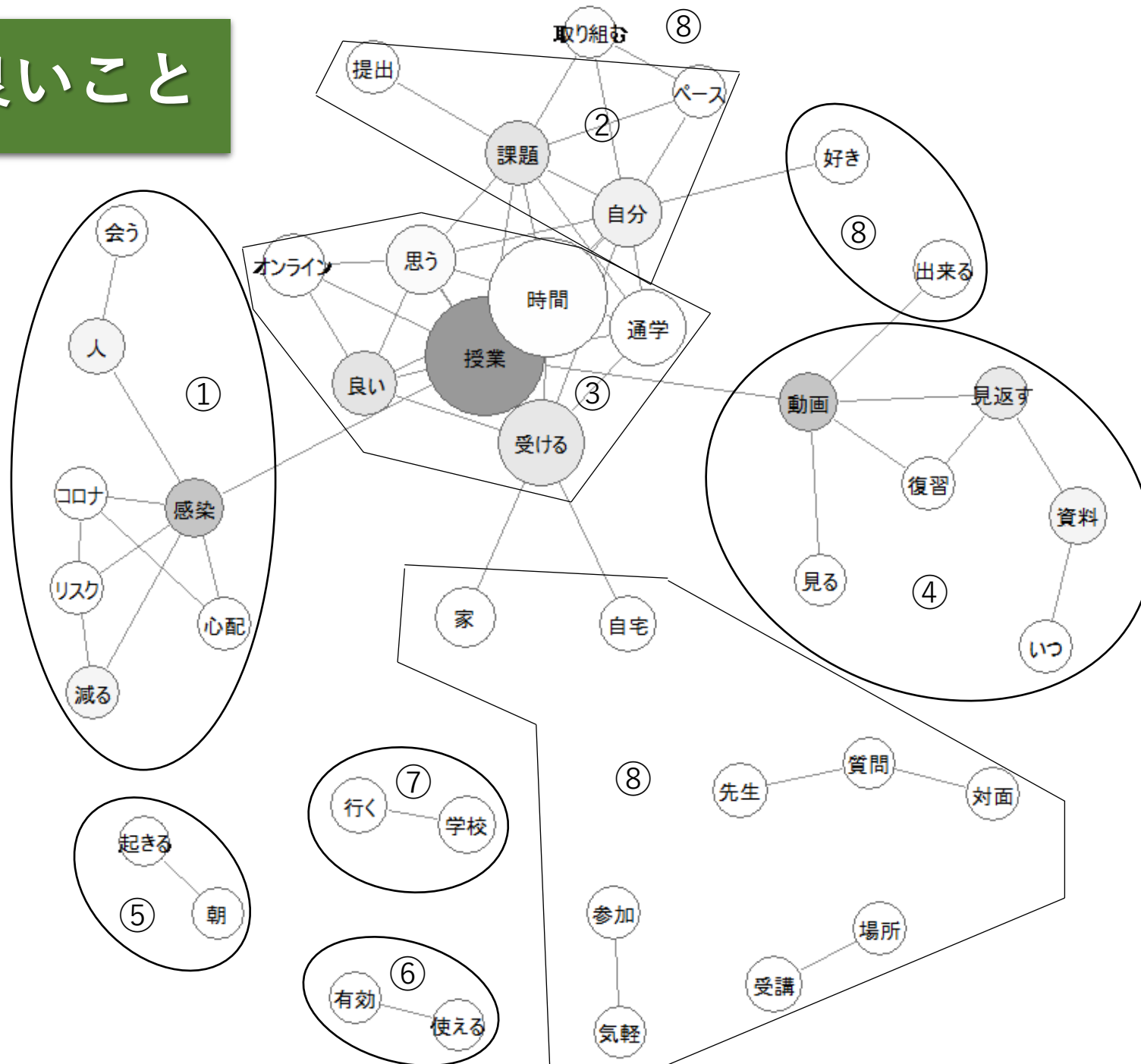
自由記述

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
授業	339	使う	16	難しい	10
思う	175	始まる	16	普通	10
オンライン	117	施設	16	聞く	10
対面	105	情報	16	来る	10
大学	99	払う	16	量	10
不安	65	変わる	16	アルバイト	9
課題	53	実習	15	メール	9
学費	50	出る	15	安心	9
時間	45	少ない	15	影響	9
学校	44	大変	15	早め	9
多い	42	慣れる	14	送る	9
先生	41	嬉しい	14	続ける	9
学生	40	仕方	14	大谷大学	9
早い	40	内容	14	怖い	9
コロナ	39	練習	14	負担	9
受ける	37	他	13	部分	9
少し	35	単位	13	分かる	9
感じる	34	頑張る	12	落ち着く	9
後期	34	経済	12	例年	9
支援	34	減免	12	レッスン	8
今	31	個人	12	可能	8
特に	31	質	12	教える	8
出ず	29	感染	12	減らす	8
講義	29	助かる	12	減る	8
状況	29	制限	12	行ける	8
返す	28	返す	12	困る	8
人	28	満足	12	再開	8
連絡	28	お金	11	使用	8
出来る	27	会える	11	支払う	8
コロナ	26	活動	11	取れる	8
生活	25	関わる	11	受講	8
環境	24	希望	11	大きい	8
行く	24	気	11	通常	8
減額	23	取る	11	登校	8
自分	23	辛い	11	入る	8
実技	22	必要	11	返還	8
対応	22	不満	11	返金	8
欲しい	21	欲しい	11	方法	8
もう少し	20	履修	11	本当に	8
今後	20	アンケート	10	無い	8
良い	20	テスト	10	問題	8
お願い	19	パソコン	10	いつ	7
家	19	給付	10	ウイルス	7
考える	19	厳しい	10	ストレス	7
生徒	19	現在	10	悪い	7
知る	18	札幌	10	遠隔	7
友達	18	資料	10	改善	7
前期	17	状態	10	楽器	7
増える	17	心配	10	願う	7
提出	17	設備	10	形	7

- ・学生の意識を把握するため、すべての品詞を分析対象とした。
- ・良いこと：「時間」「授業」「受ける」…
- ・悪いこと：「授業」「課題」「多い」…
- ・自由記述「授業」「思う」「オンライン」…

良いこと

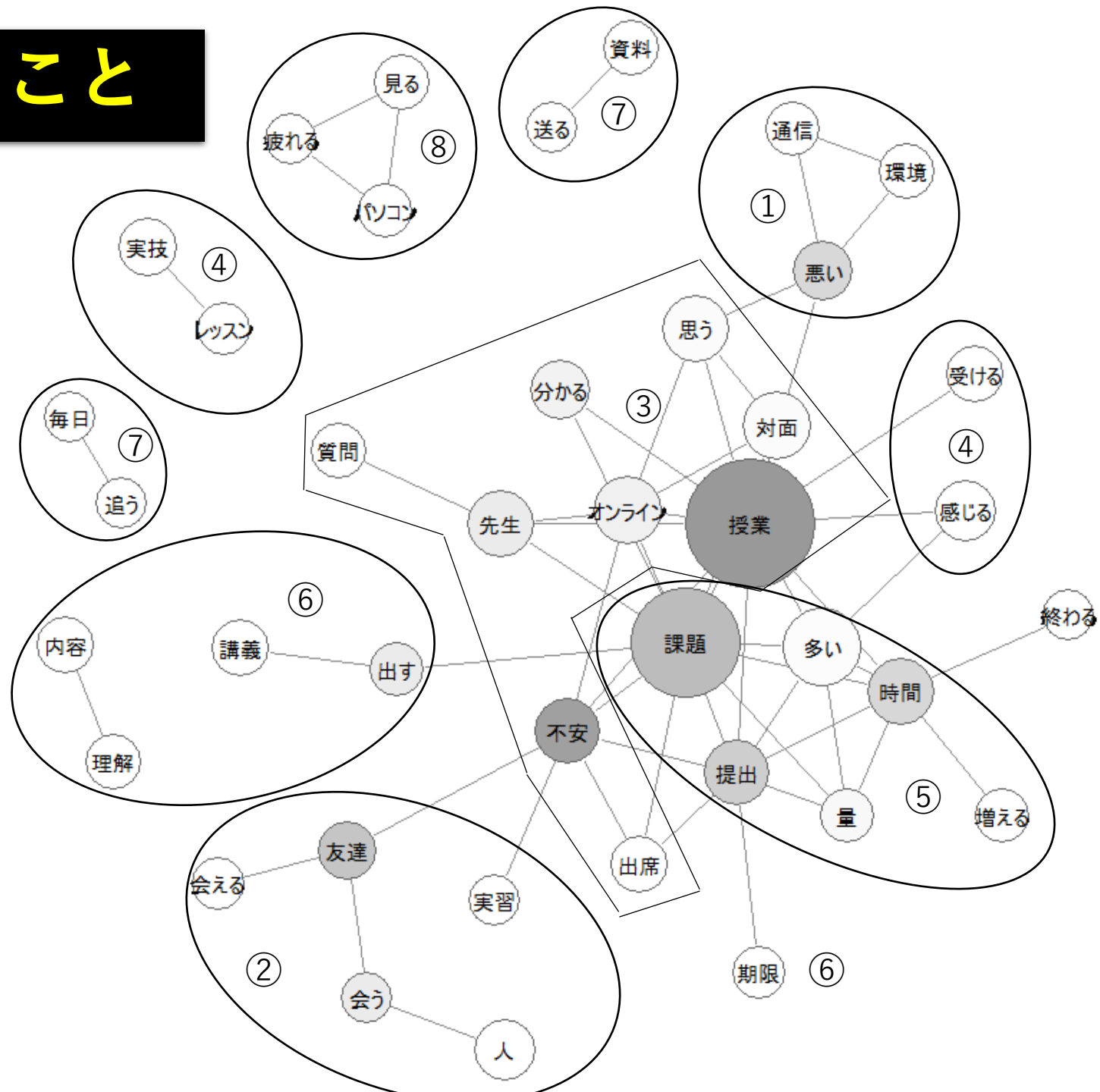
学生



- ①感染リスクの回避
- ②自分のペースで課題提出
- ③通学時間が省ける
- ④動画による復習可能
- ⑤朝起きなくて良い
- ⑥時間の有効活用
- ⑦登校不要
- ⑧自由気まま

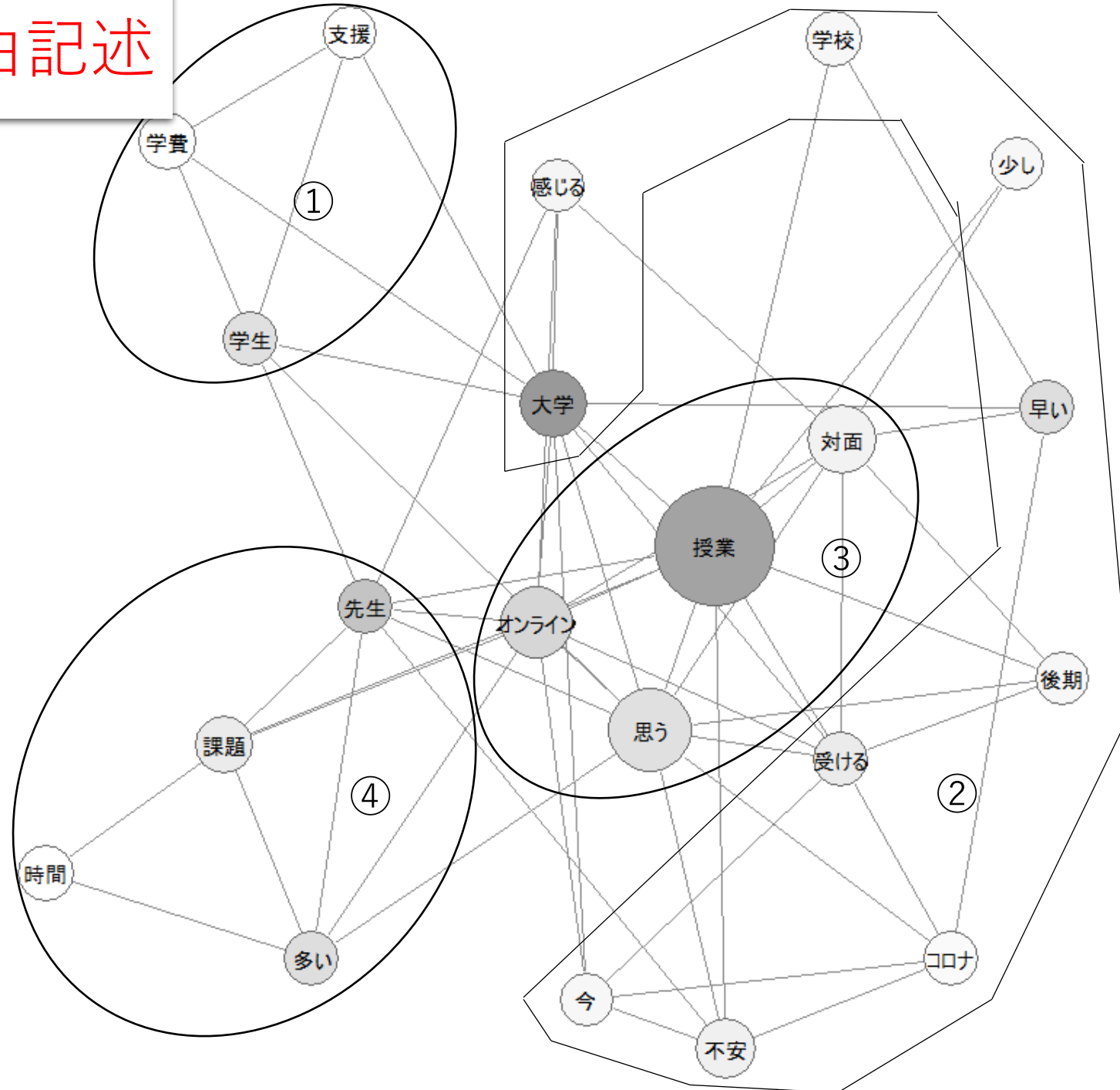
悪いこと

学生



- ①通信環境の悪さ
- ②友人と会えない
- ③出席状況の不安
- ④実技・レッスンに不向き
- ⑤課題量が多い
- ⑥内容理解できず
- ⑦毎日授業に追われる
- ⑧PC利用の疲労感

自由記述



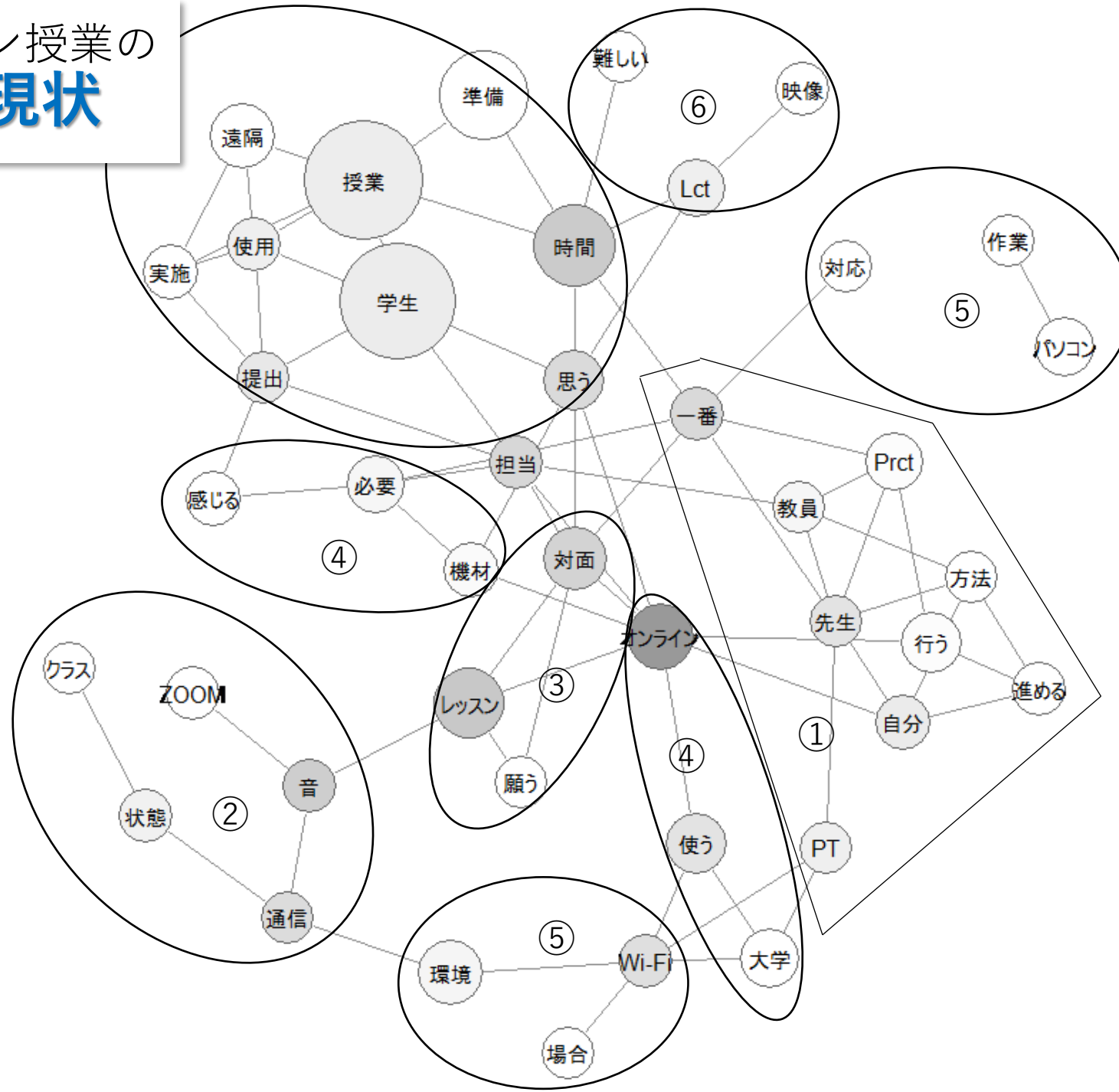
- ①学費支援への要望
- ②後期授業再開への不安
- ③オンライン・対面の併用希望
- ④課題提出への配慮

教員アンケート

- ・ 頻出150語の標示は省略。
- ・ 抽出語のグループ分け（階層的クラスター分析）と語の関連性（共起ネットワーク分析）を同時に把握するため、サブグラフ検出を用いた。
- ・ 最小出現数はデータ数に差があるため、教員5～2とした。

オンライン授業の 準備現状

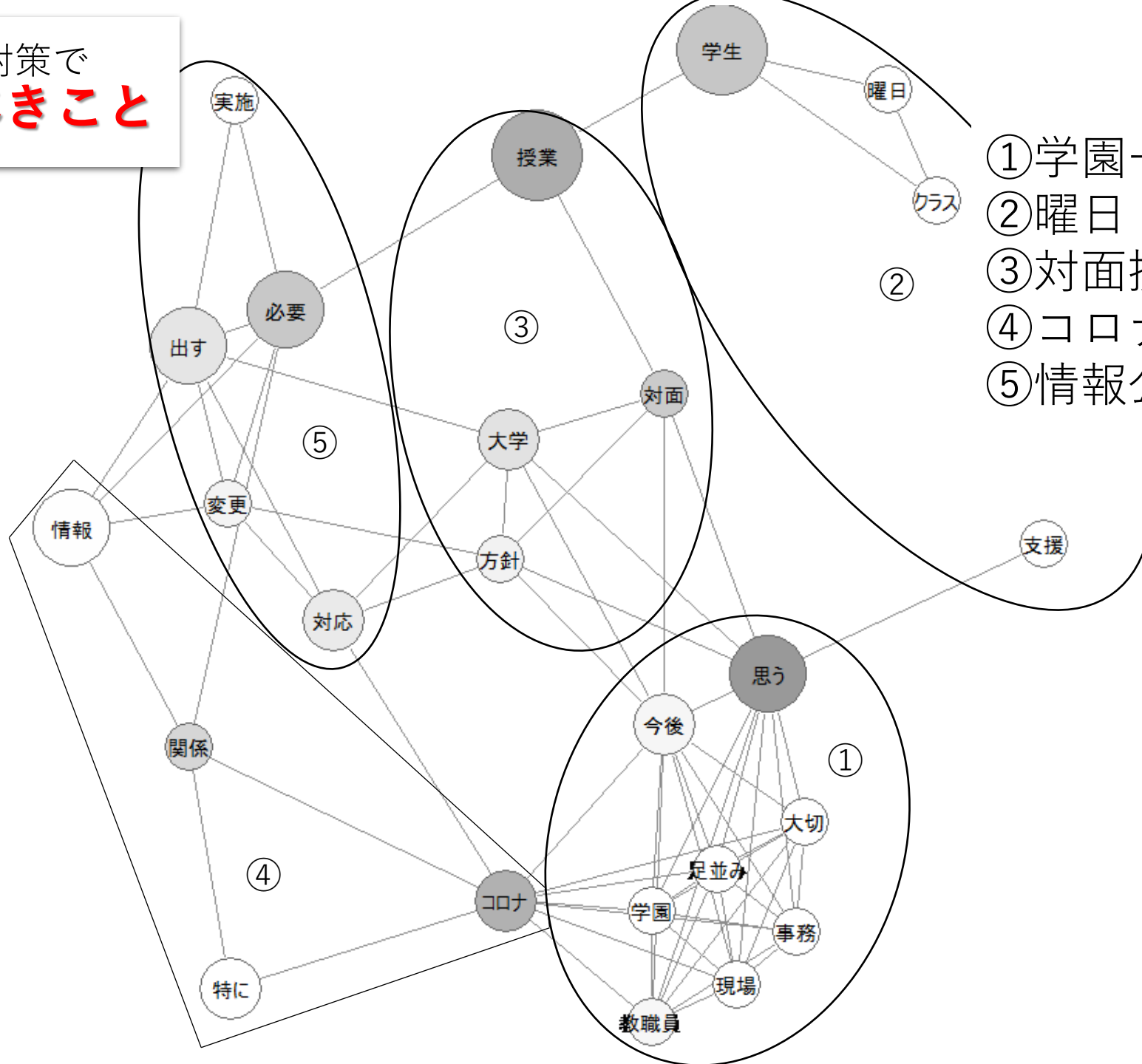
教員



- ①自分なりの教授法
- ②ZOOMによる音響の問題
- ③レッスンは対面
- ④オンライン機材の充足
- ⑤Wi-Fi環境の整備
- ⑥映像利用は困難
- ⑦遠隔授業対応に忙殺

コロナ対策で
追加すべきこと

教員

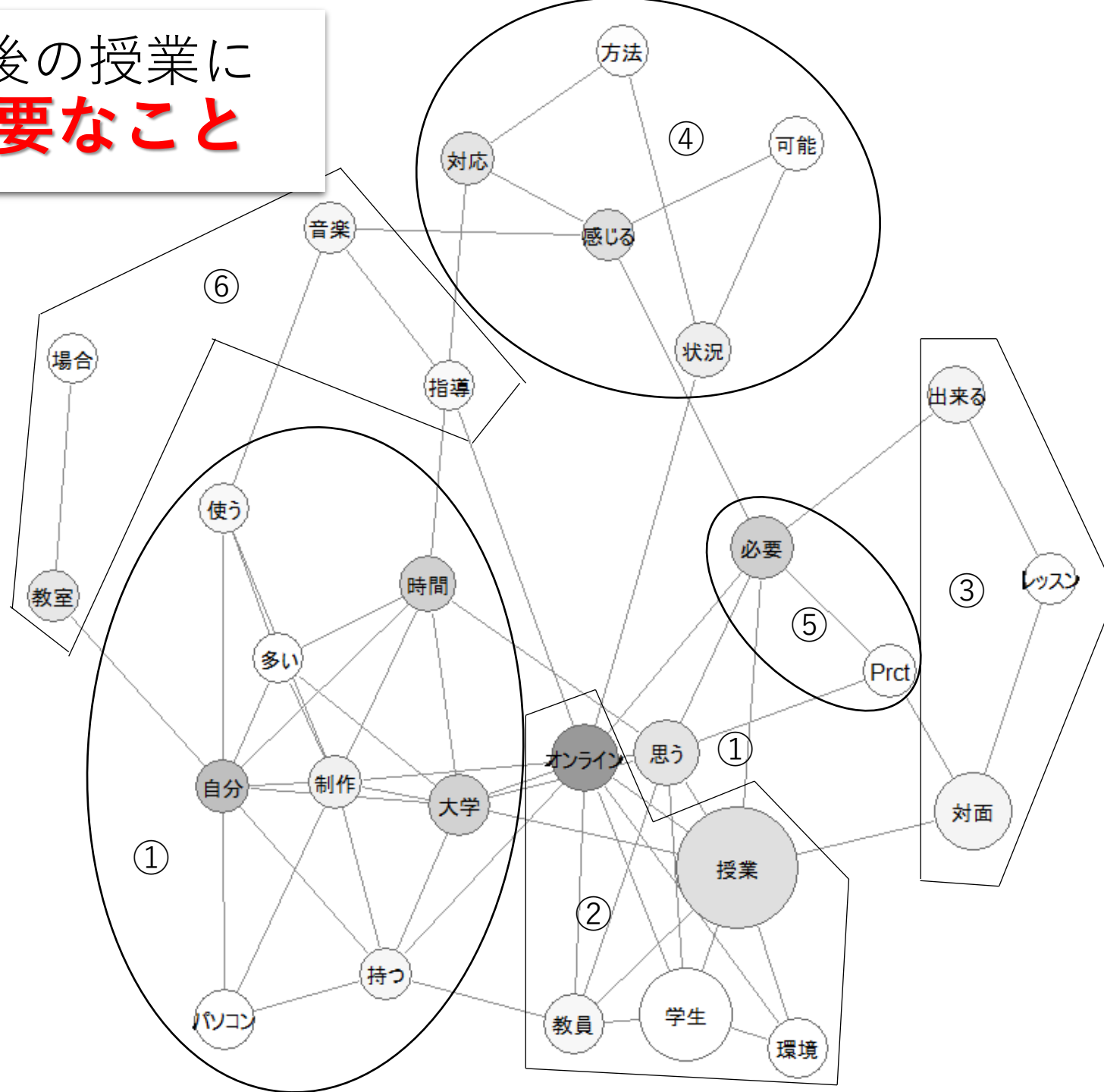


- ①学園一体となった取り組み
- ②曜日・人数への配慮
- ③対面授業に向けた大学の方針
- ④コロナ関連の情報
- ⑤情報公開

今後の授業に 必要なこと

教員

- ①自分用のPC
- ②教員・学生のオンライン環境
- ③対面によるレッスン
- ④状況に応じた対応可能策
- ⑤遠隔によるPrct
- ⑥教室での音楽指導



まとめ（教員アンケートと学生アンケートの比較）

学生：授業内容について納得していないグループが目立つ

教員：授業担当者が個別判断や個別意見により対応している

（結果から言えること・・・）

課題提出や出席管理のあり方、授業形式の違いによるオンラインと対面といった項目については・・・

教員が個別に対応するのではなく、FDを通して**大学としてのあり方**を検討すべき、

アンケート結果から出てきたいくつかの問い

1 コロナ禍で経済的な影響を受けた学生への支援をどうするか

→必ずしも就学支援だけではない

学生は、このアンケートにかなり関心を持っている

2 感染の

→このアンケート結果を学生や保護者にも公開すべき・・・

3 オンラ

できれば、大学がどう対処したかがわかるように・・・

4 教育内容が劣化していると見ている学生にどう対応すべきか

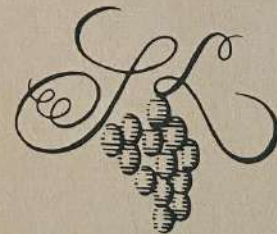
→かならずしも実技・実習系授業に対する不満ではない

2 質疑応答

新潮文庫

ペ ス ト

カ ミ ュ
宮崎嶺雄訳



新潮社

3 ディスカッション

1 学生アンケートの分析結果の感想

(付帯条項)

- ・ 学生がコロナ禍でどんなことに悩んでいるのか、どんな支援を必要としているか
- ・ オンライン授業について学生がどう見ているか

(全ての学生が同じ意見を持っているわけではない)

2 今後の本学の教育はどうあるべきか

(付帯条項)

- ・ それを実現するにはどんな条件を整備する必要があるか

グループワークの手順：まず自分たちのグループ番号を確認してください。

①リーダー（報告者）を決める ②記録係を決める ③リーダーの司会でディスカッションを進める
④終了後にグループ番号を呼ばれたらリーダーが報告する ⑤記録係は、研修会終了後に、Google Classroomにある課題「8/5グループディスカッション報告用紙」に話し合った内容を記入する。

この研修会の後で・・・

具体的に取り組むべき対策を練って、できるだけ早期に提示（全教職員・全学生・保護者に）

例えば・・・

学修支援センター・学務課では、何ができるか？

教務的なこと・・・

学生支援に関すること・・・

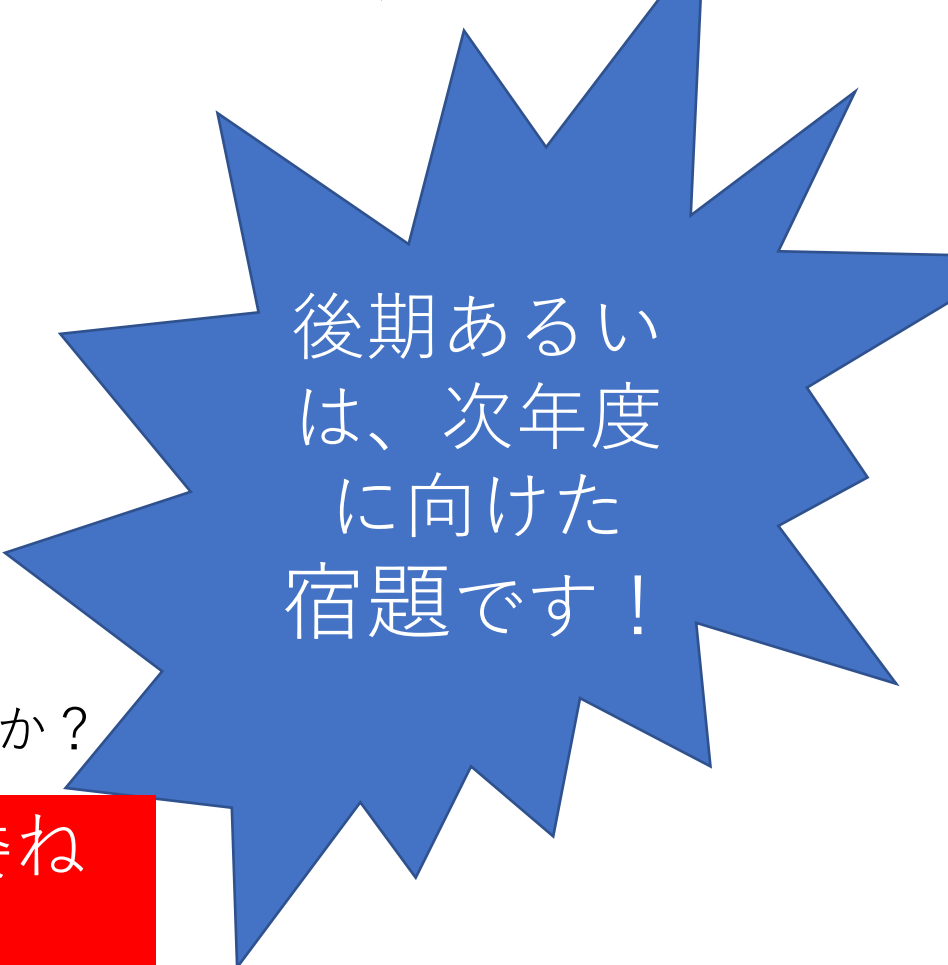
入学支援センター・入試広報課では、何ができるか？

入試をどうするか・・・

コロナ禍で本学は何をアピールする（できる）のか？

情報システム委員会・財務課では、何ができるか？

学生・教員（専任・非常勤）の学習・教育環境をどうすべきか？



後期あるいは、次年度
に向けた
宿題です！

ポイント：解決を教職員個人の努力や意識に委ねるのではなく、組織としての対応を考える。

次回研修会は、こうした具体的提案について、全体で検討する！

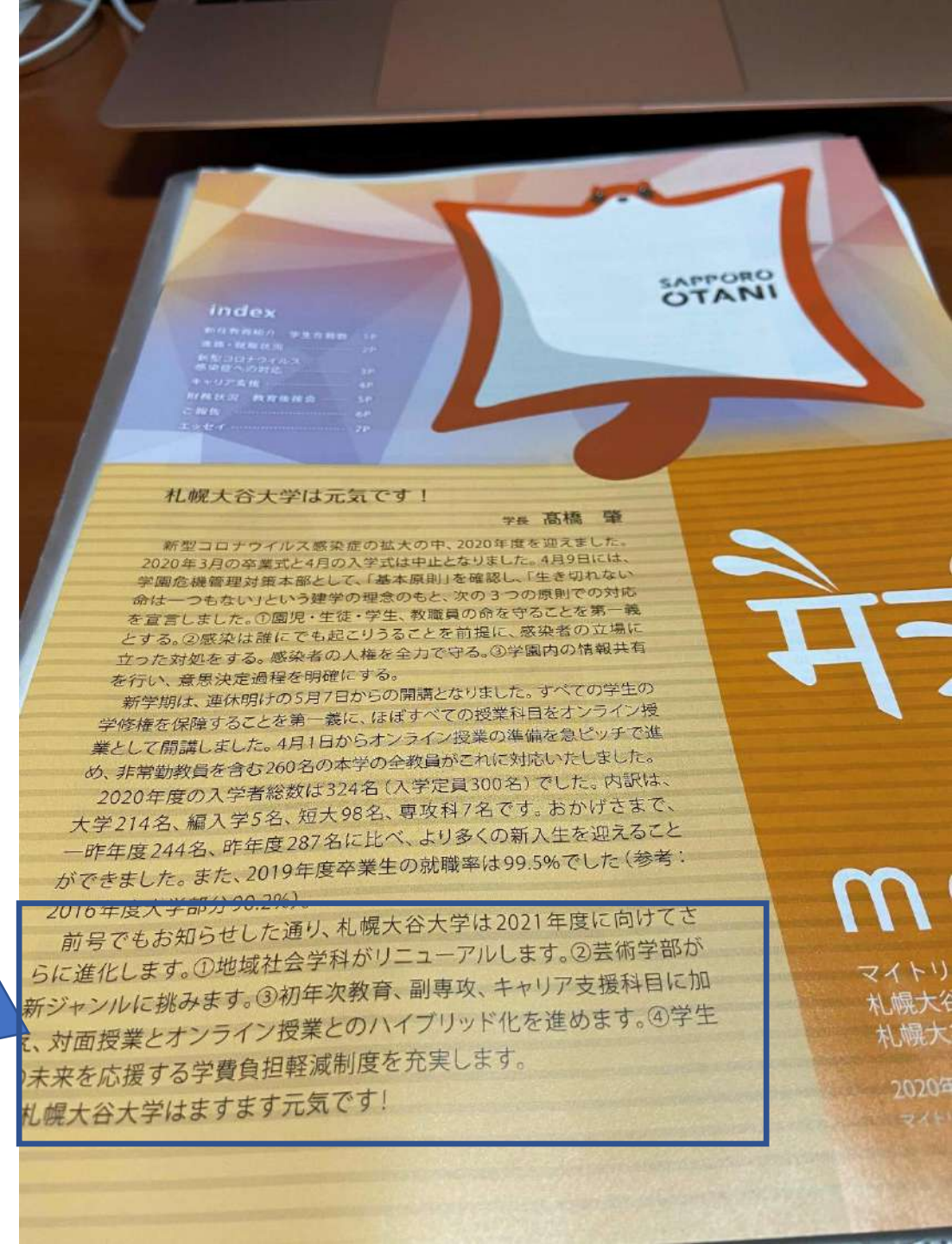
ことにしてはいかがでしょうか・・・？

終わりに・・・

前号でもお知らせした通り、札幌大谷大学は2021年度に向けて、さらに進化します。①地域社会学科がリニューアルします。②芸術学部が新ジャンルに挑みます。③初年次教育、副専攻、キャリア支援科目に加え、**対面授業とオンライン授業とのハイブリッド化を進めます。**④学生を応援する**学費負担軽減制度を充実**します。

札幌大谷大学はますます元気です！

(高橋肇(2020)マイトリ No.91. p.1 巻頭言)



本日はご参加いただきありがとうございました。

なお、本日の研修で扱ったアンケート調査の結果は、さらに分析を加えて、後日、大学のHPに掲載します。

